

かに 可児市の紹介

人口 100,598人

世帯 43,624世帯

令和4年9月1日現在



世界一のバラ園

ぎふワールド・ローズガーデン



美濃桃山陶の聖地

信長・秀吉時代の茶の湯文化を牽引



「志野呼継ぎ茶碗」

明智光秀・森蘭丸の所縁の地

明智城址・森蘭丸の甲冑・国史跡美濃金山城跡





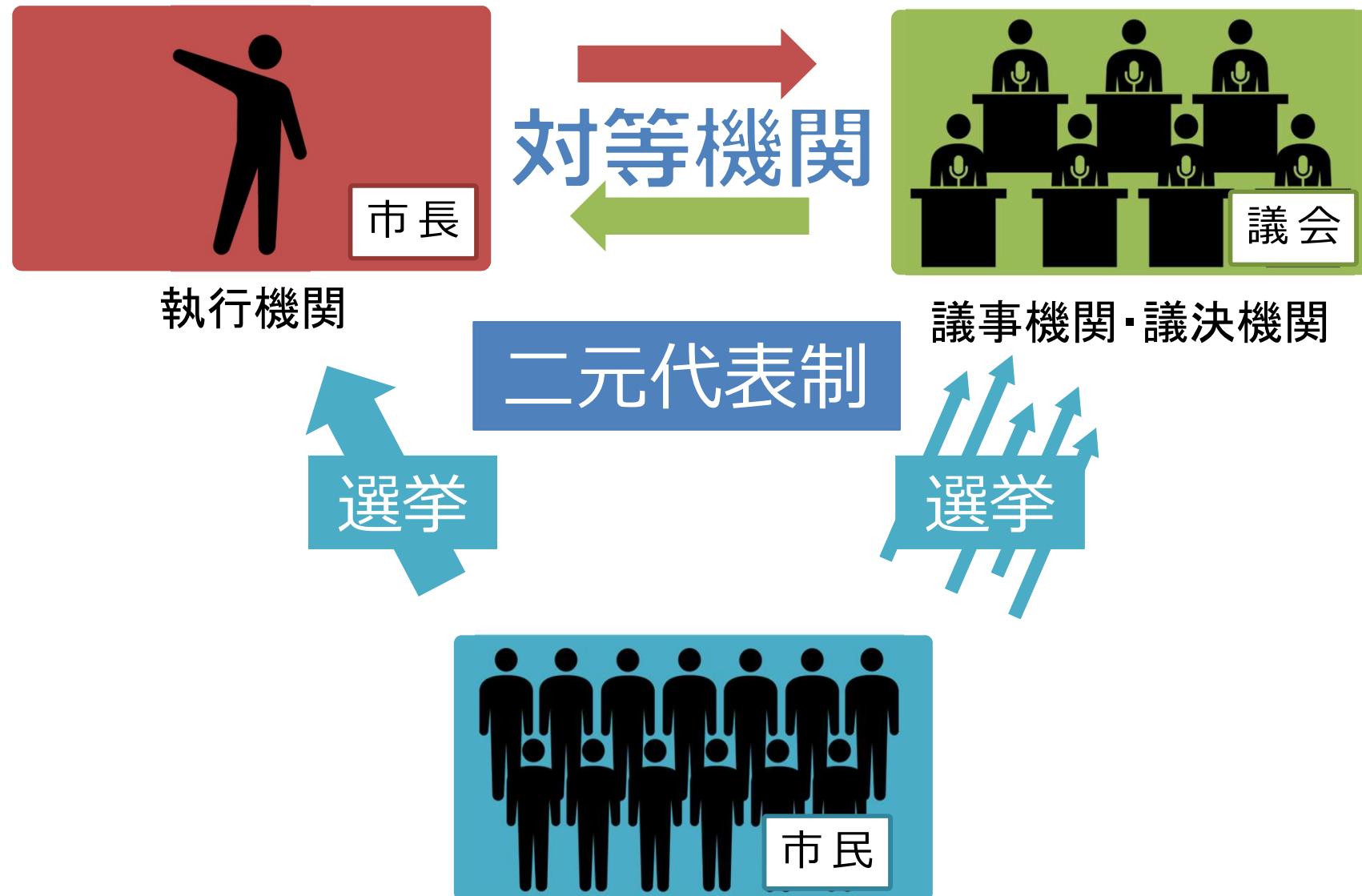
未来への挑戦

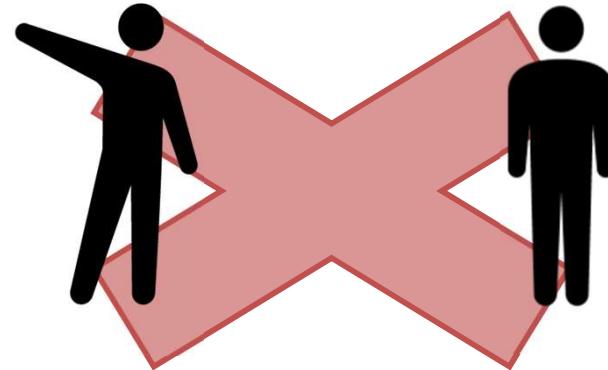


未来の子ども達に明るい時代を残すために

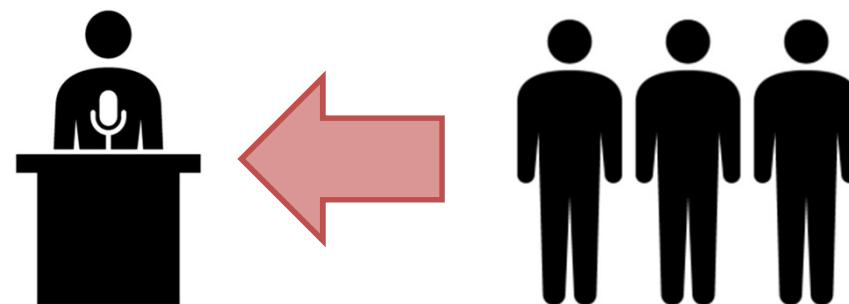
地方議会の役割とは

議会と市長の関係（二元代表制）



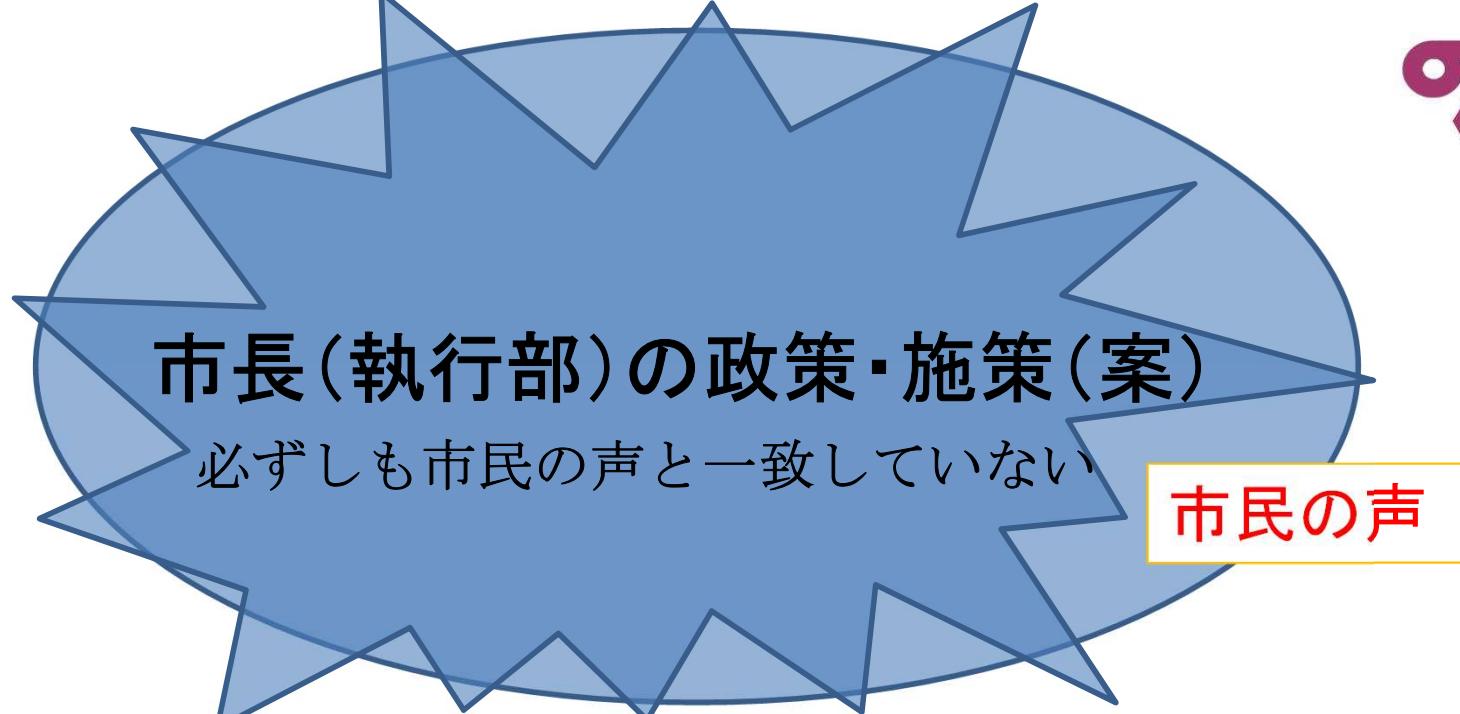


「議員は代理でなく代表」



- ・深まること「深化」
- ・変わること「変化」

「丁寧な議会審議」～熟議型議会～こそ
が住民投票では代替できない議会の機能



市長(執行部)の政策・施策(案)

必ずしも市民の声と一致していない

市民の声

市民の声を反映



議会の提言・修正により
議案成立！

市民への説明責任

議会改革の歩み

いろいろな事業に取り組んできました

バラのまちをPR



毎年6月定例会を「バラ議会」とする決議

可児市議会の議会改革



- H17.6 一問一答・対面方式の導入
H19.9 費用弁償の廃止
H20.7 名城大学都市情報学部昇ゼミへの参加(大学との連携)
H20.8 議長交際費、政務調査費の公開(ホームページ、議会だより)
H21.5 議員の活動範囲についてとりまとめ
H21.8 正副議長選挙における立候補制度の導入
H23.2 「議会改革のためのアンケート調査」を実施
H23.9 議会基本条例特別委員会の設置(H25.3で廃止)
H23.10 サイボウズライブ(グループウェア)を活用した議員間の意見交換と資料提供
H24.2 第1回議会報告会の実施～毎年実施
H24.6 本会議インターネット配信開始(YouTube)
H24.6 予算決算委員会を設置し審査を実施
H24.10 議会基本条例(案)パブリックコメントおよび市民説明会の実施
H24.12 **議会基本条例の制定**(施行はH25.4～)
H25.4 議会基本条例の施行
H25.4 グーグルカレンダーを利用した議会予定の公表
H25.8 議会フェイスブックページの開設
H25.8 議会ホームページの全面更新
H25.8 政治倫理規定の制定
H25.8 委員会会議録のインターネット公開開始
H25.12 委員会のインターネット配信開始(YouTube)
H26.2 高校生議会の開催(地域課題解決型キャリア教育支援事業)
H26.7 地域課題懇談会の開催(地域課題解決型キャリア教育支援事業/可児医師会協力)
H26.7 議会提案の空き家等の適正管理に関する条例(案)のパブリックコメント実施
H26.8 議会提案による空き家等の適正管理に関する条例制定
H27.2 高校生議会の開催
(地域課題解決型キャリア教育支援事業)
H27.5 議会のトビラ発行(議会だよりリニューアル)
H27.6 地域課題懇談会の開催(可児金融協会共催)

- H27.12 地域課題懇談会出前講座(18歳選挙権)の開催
H28.1 「第2回議会改革のためのアンケート調査」を実施
H28.2 高校生議会の開催(地域課題解決型キャリア教育支援事業)
H28.3 可児高校模擬選挙
(候補者を選ぶための600人によるグループディスカッションと投票)
H28.7 地域課題懇談会の開催(可児商工会議所共催)
H28.8 ママさん議会の開催
H29.2 高校生議会(可児市の課題をテーマ/岐阜医療科学大学協力)
H29.7 地域課題懇談会(可児市の魅力等をテーマ/可児商工会議所協力)
H29.8 正副議長の立候補所信表明を議場で行う(以後毎年)
H29.8 可児市議会BCPの策定
H29.9 委員会代表質問の開始
H29.11 可児高校模擬選挙(600人によるグループディスカッションと投票)
H30.2 高校生議会(投票率向上のための方策等/市選挙管理委員会協力)
H30.8 地域課題懇談会
(若い世代が主役のまちづくりをテーマ/可児青年会議所協力)
H31.1 子育て世代との意見交換会
H31.2 高校生議会(NHK大河ドラマを活用した可児のPR)
R1.10 可児高校模擬選挙
R2.2 高校生議会(各テーマで意見交換・発表後、意見書の提案・採択)
R2.7 議会BCPのコロナウィルス感染症に対応するための改訂
R2.9 オンラインを使ったBCPの対策会議の実施
R2.9 コロナ差別を許さない可児市議会緊急メッセージ
R2.11 オンラインを活用した議会報告会の実施
R3.3 「第3回議会改革のためのアンケート調査」を実施
R3.11 可児高校模擬選挙
R4.3 高校生議会(活動報告・模擬選挙マニフェストから市への提案)
R4.5 完全オンラインによる議会報告会(分科会含む)の実施

市民に信頼される議会へ

大学との連携

目的：議員の資質の向上を図るため

開始：平成20年7月15日～

参加：議員11名

費用：政務活動費から支出

内容：名城大学都市情報学部 昇秀樹教授ゼミに参加し、地方自治や時事問題について意見交換を行い、知見を深めている。

状況：毎月1回（定例会中除く）

その他：**議会報告会**に**昇秀樹教授とゼミ所属大学生**に**参加**してもらっている。

また、ゼミへの参加が**専門的知見の活用に繋がっている**。



議会改革のための市民アンケート

(第1回:平成23年2月実施)

目的：市議会の現状を調査するため

対象：20歳以上の市民2,000人

主体：議会基本条例調査研究プロジェクトチーム（有志議員）

予算：政務調査費（全議員が支出）

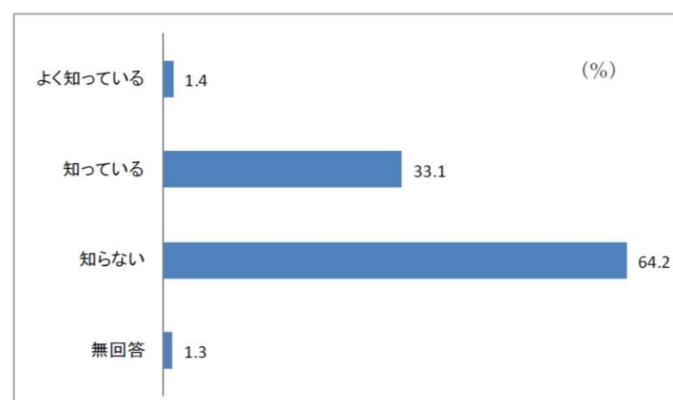
作業：質問選定から封入・郵送、集計・分析に至るまで全て議員が実施

- 結果：
- 回収数は810件、**回収率は40.6%**
 - 市議会に関心がない 36.7%
 - 議員の活動内容を知らない 64.2%**
 - 市民の声が市議会に反映されていると感じている 6.4%**

→厳しい現状と議会改革を進める必要性を再認識

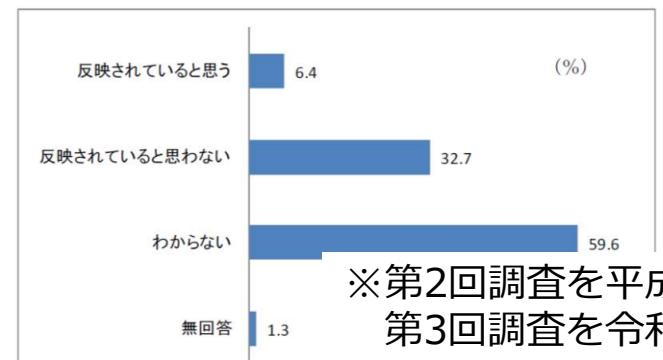
問 11 あなたは市議会議員の活動内容をご存じですか。（ひとつだけ○）

「知らない」が64.2%と最も高く、20歳代では8割以上、50歳代で約5割が回答している。
「市議会に関心がある」と回答した中でも、29.4%が「活動内容を知らない」と回答している。



問 12 あなたの意見や、市民の声が市議会に反映されていると思いますか。（ひとつだけ○）

「わからない」が全体の約6割を占めている。
「市議会に関心がある」と回答した中でも、約半数が「反映されていると思わない」と回答している。



※第2回調査を平成28年、
第3回調査を令和3年に実施

民意と市議会



アンケートで浮き彫り 隔たり大

可児

市民の声反映 64%

七会派のうち六会派の議員八百十人が回答を寄せた。十一人が参加した議会基本条例調査研究プロジェクトチークム（小村昌弘リーダー）が二月に実施。二十歳以上の市民三千人を無作為で選び、三十人を無作為で選び、

改革の方向は「報酬見直し」「市民との意見交換会の開催」「定数見直し」の順に多く、自由意見では「顔が見えない」「政策立案力が低い」「報酬や定数は仕事ぶりで判断したい」などの声もあつた。

チームサブリーダーの川上文浩議員は「議会の発信力が弱い」ということ。報酬や定数の根拠が今後、必要になる」と話した。

同市議会で九月に特別委員会を設け、指摘された課題を協議しながら改革と議会基本条例づくりに取り組む予定。アンケート結果を発表する小村昌弘リーダー（写真）＝可児市役所で

中日新聞

岐阜新聞

可児市議会は

64%「市議の活動知らない」
からない」38・3%、「分

からない」35・6%、「適当」23・3%となつた。月

額40万円の議員報酬については「多い」43・6%、「適当」31・2%だった。

同チームは、議会基本条例特別委員会の設置や議員定数、報酬の見直しなどを議会の改革が必要」とし、具体的には報酬や定数の見直しのほか市民との意見交換会が必要とする回答が多かつた。

調査は、議長の諮問による議員有志の議会基本条例調査研究プロジェクトチークムが、市議会の現状と課題を探るために実施。無作為に抽出した有権者2千人に調査票を郵送、810人から回収した。議員定数の22人については、「多い」

可児市議会 市民にアンケート

調査結果は10日付の市議会だよりに掲載したほか、議会事務局や連絡所などで見ることができる。

（広瀬丈士）

可児市議会有志が行つた議会改革のためのアンケート結果が九日公表された。「活動内容を知らない」は64%、「市民の声を反映している」は6%。市議会が有権者から遠い存在である実態が浮き彫りになつた。可児慶

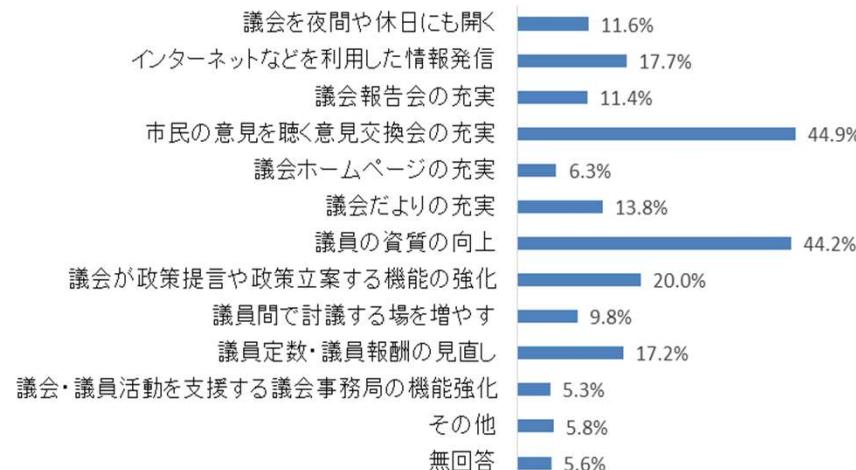
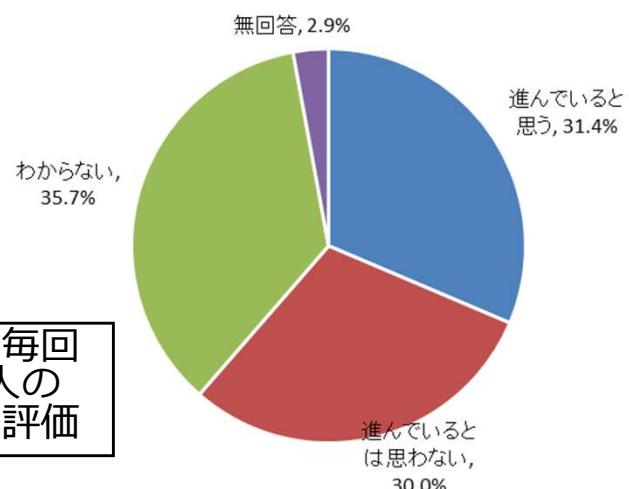
志議長は「市民が求める議員像と現状の議会機能にミスマッチがある」と認め、改革に向け議論を深める方針を示した。

（斎藤明彦）

アンケート調査(検証)第2回:平成28年実施



議会だよりを毎回
読んでいる人の
議会改革への評価



► 議会改革について

議会だよりを「毎回読んでいる」人の31.4%が「進んでいる」と回答し、「進んでいるとは思わない」よりも多くなっています。

► 今後の議会に対して

今後の可児市議会が取り組むべき課題は、「市民の意見を聴く意見交換会の充実」が44.9%と最も高く、続いて「議員の資質向上」が、44.2%となっています。前回と比較して「議員定数・報酬の見直し」が約8ポイント減少しています。

「議会の見える化」の推進

- ①更なる情報公開の徹底
- ②「議会だより」を軸としたわかりやすい広報の展開、市民の意見を聴く意見交換会の充実



可児市議会 市民アンケート



市議会は、議会改革に向ふた市民アンケート結果を公表した。市議会への関心の有無を問う質問で「関心がない」と答えた人の割合は10・1%と、初めて行った二〇一一年の前回から26・6%減少した。前回は二十歳以上が対象だったが、今夏の参院選から選挙権年齢が引き下げるることを踏まえ、新たに十八歳以上を対象とした。

「関心ない」大幅減少

本会議や委員会のオッケー」と分析している。り」が全体で40~50%ト配信開始といった改革では、七十六人で最高だが、「説明を革の効果を検証し、反に調査票を送ったところ、十一人からの回答が映させる狙い。市議会に「関心があつた。」「関心があつた。調査結果を取りま

「心がない」と答えた人で、二十代より九・七%の割合が27・9%と最も多かった。一方で、前回比0・3%減ったが、「関心がない」とめた議会改革特別委員会の川上文浩委員長は、「関心がない」割合は18・2%は「市議会だよりを使つた広報活動をゼロべり少なかった。」と指摘した。調査では、うち「関心がない」と答えた女性一人ある」と指摘した。

報高橋先生論など会取り組みに一定の効果

が、自由記述欄に意図を寄せた。女性は「議員の方々の名前は一人も知らないし、議会 자체、何をしているとこ

査結果の概要是、一月二日、発行の市議会だよりに掲載した。

17日から報告会

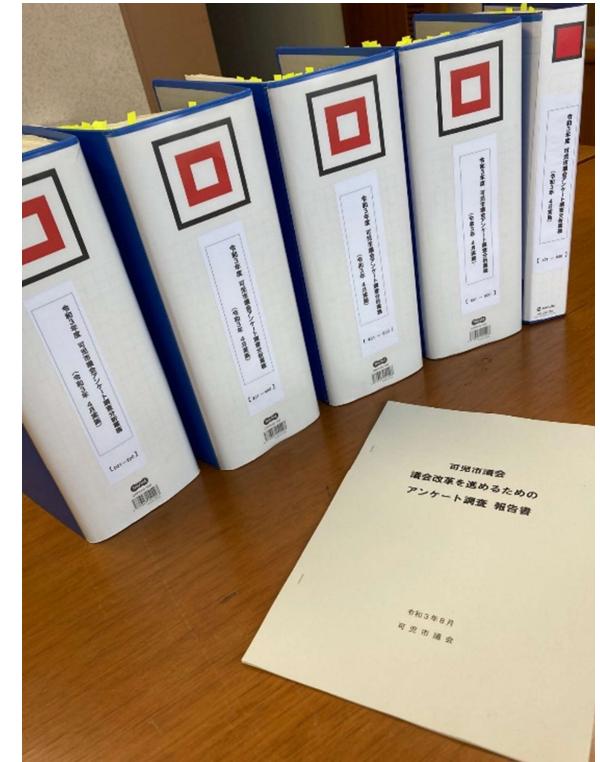
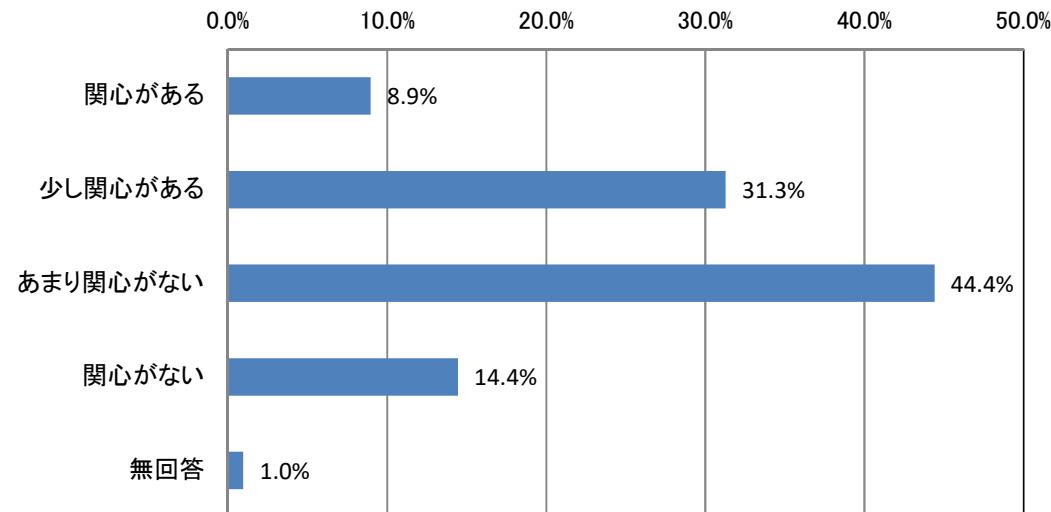
市内4ヵ所で
可児市議会は十七日
から、市内四力所で市
民への議会報告会を開
催する。

中日新聞

議会改革のための 市民アンケート

(第3回:令和3年3月実施)

►あなたは市議会に関心がありますか



►議会改革を進めるために取り組むべき課題は何か（複数回答）

「市民の意見を聴く機会の充実」（49.5% 前回44.9%）、「議員の資質向上」（38.7% 前回44.2%）は、前回調査と同様 高くなっています。それに加えて「各種媒体を活用した情報発信」が43.7%（前回インターネットの活用など17.7%）と急増しています。

「市民の意見を聴く機会の充実」や「各種媒体を活用した情報発信」においては、特に10歳代でその傾向が高くなっています。

議論の充実

本会議における一般質問および議案質疑は、論点や争点を明確にし、執行機関や傍聴者にわかりやすくするため、下記の取り組みを実施している。

▼ 一般質問・議案質疑

一問一答方式と一括質問一括答弁方式の選択方式（再質問からは一問一答）

→通告時に議員が選択することとしている。大項目（議案）ごとの質問項目の多寡などで使い分けられるようにしている。

▼ 反問権

議員の質疑・質問に対し、執行機関が議長又は委員長の許可でその根拠や理由を確認したり、論点を明確にするために反問の権利を保障している。

▼ 自由討議

本会議および委員会で自由討議ができるよう規定している。

▼ 議場モニター（スクリーン）

議場にモニターを設置し、パソコンを活用した一般質問ができる。



ICTの活用

目的：・議員相互の意見交換のため
・事前調整を活発に行うため
・資料の確認・配布を円滑に行うため

ツール：議会掲示板（議会HPを活用）

効果：・インターネット上で資料確認ができるため、**資料確認が迅速**にでき、
資料内容の改善を事前に行うことができた。
・**委員相互の意見交換や認識を深めてから委員会に臨む**ことができた。



The screenshot shows the 'Group Bulletin Board' section of the Gifu Kani City Groupware. The top navigation bar includes links for 'HOME', 'ログアウト', and various administrative functions like '新規', '掲示板を編集', and 'テンプレート:single-forum.php'. The main content area displays a list of bulletin boards under the heading '「グループ掲示板」の一覧'. It includes columns for '掲示板' (Board), 'トピック' (Topics), '投稿' (Posts), and '経過時間' (Elapsed Time). Boards listed include '委員会等のテスト掲示板' (Topics: 4, Posts: 17, Elapsed: 1 week, 5 days ago), '議会' (Topics: 4, Posts: 9, Elapsed: 1 day, 14 hours ago), '総務企画委員会' (Topics: 0, Posts: 0, Note: 'トピックがありません'), and '建設市民委員会' (Topics: 0, Posts: 0, Note: 'トピックがありません'). A sidebar on the left contains a '管理者用メニュー' (Administrator menu) with links for '会員管理', 'グループ管理', and 'アクティビティ', and a 'お知らせ' (Announcements) section.



The screenshot shows the 'Committee for Public Relations Special Committee' bulletin board. The top navigation bar includes links for 'HOME', '掲示板', and '議会広報特別委員会'. The main content area displays a list of topics under the heading 'トピック'. It includes columns for 'トピック' (Topic), '参加者' (Participants), '投稿' (Posts), and '経過時間' (Elapsed Time). Topics listed include 'FMららの番組について' (Participants: 1, Posts: 1, Elapsed: 1 month ago) and '議会だより72号の最終原稿について' (Participants: 1, Posts: 1, Elapsed: 1 month, 1 week ago). A sidebar on the left contains links for '全ての掲示板', '議会掲示板', 'グループ掲示板', and '資料ダウンロード'.

議員研修の充実

目的：議員の資質の向上を図るため

根拠：可児市**議会基本条例**第14条第1項（議員研修の充実強化）

状況：平成26年 2月12日 予算審査について 元廿日市副市長 川本達志 氏

平成26年 8月27日 決算審査について 元廿日市副市長 川本達志 氏

平成26年11月10日 公共施設再配置について 秦野市役所 志村高史 氏

平成28年 1月28日 地方創生時代が求める議会とは 早稲田大学 北川正恭 氏

平成28年 7月 5日 一般質問について 龍谷大学政策学部 土山希美枝 氏

平成29年 1月25日 議員定数・報酬について 山梨学院大学 江藤俊昭 氏

平成30年 2月 2日 これからの中大と地域との連携 立命館総長 吉田美喜夫

平成31年 3月25日 議会活動の点検・評価を考える 法政大学 廣瀬克哉 氏

令和 2年 1月16日 議会改革に必要なものはなにか 福知山公立大学 杉岡秀紀氏

令和 2年10月30日 議会改革に再生可能エネルギーの現状と課題 中部経済産業局



一般質問研修



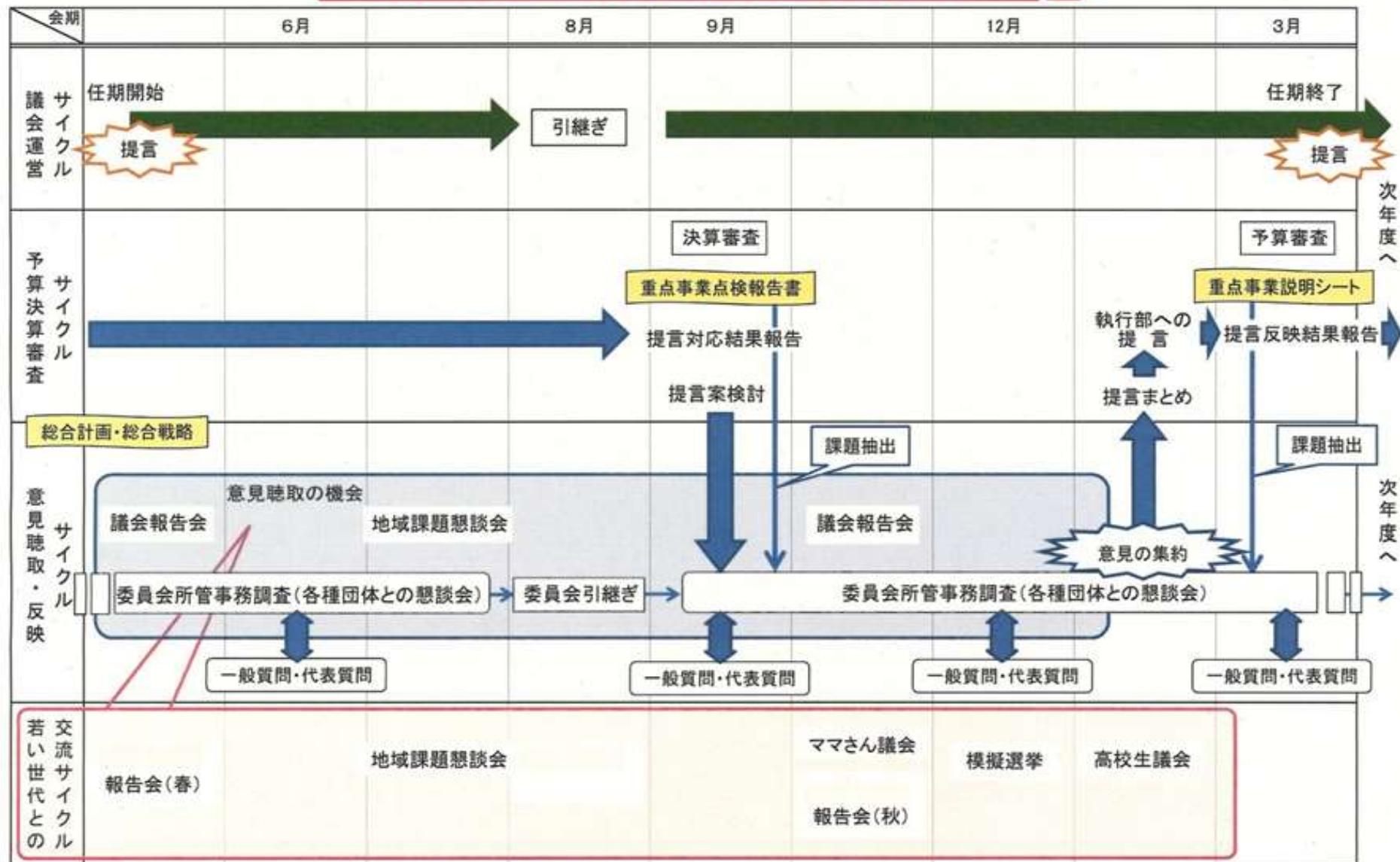
議員定数・報酬について

※上記以外に地域の議長会主催の研修会には**議員派遣**を行い、全議員が参加。

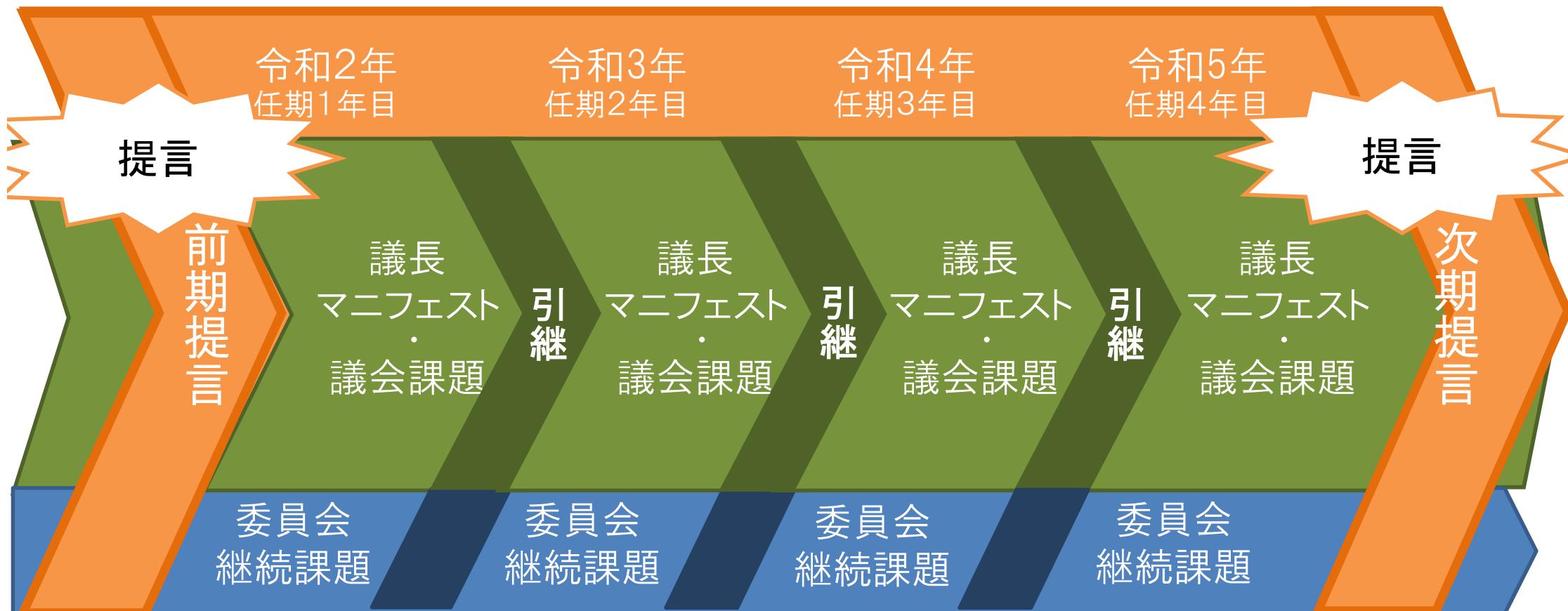
市民福祉向上のための 4つの議会サイクル

可児市議会 4つのサイクルアニュアルプラン

—民意を反映する政策タイムライン—



議会運営サイクル



前回改選時の引き継ぎ事項

議長職における引き継ぎ事項について

1. 議会のICT化を推進し、議会活動に対する住民理解の促進と住民意見を反映させる仕組みの構築を図ること
2. 議会BCPの策定（業務継続計画）について検討をすること
3. 正副議長所信表明演説会を公開すること
4. 議会基本条例に則り議会改革を進め、その進行管理を十分に行うこと
5. 議会が合議体としての特性を活かし、積極的に政策形成を行う仕組みを整備すること

平成27年6月19日

可児市議会議長 川上 文浩

議長引き継ぎ事項（R2.6）

1. 新型コロナウィルス感染予防時における議会運営の円滑な実施を図ること
また、各事業の実施方法についても再検討を行い実施すること
2. オンラインによる議会の様々な会議の実施に向けた調査研究を行うこと
3. 広報広聴協議会の組織の充実と円滑な活動ができるよう検証すること
4. 地方議員選挙におけるビラの公費負担の実施を市長に要請したので、今後の条例改正の動向を注視すること
5. 議会事業の評価の確立に向け調査、研究を行うこと
6. 議会活動に関する市民アンケート調査を実施すること
7. 議会B C Pに則った議会防災訓練の充実を図ること

1. 二野地区での汚染土壌処理施設については、公害防止協定に基づき、稼働状況を注視していくこと。
2. リニア中央新幹線の工事が開始されたことから、要対策土仮置き場をはじめとした工事の進捗状況を注視していくこと。
3. 地区センターが各地区の課題解決拠点となるよう、新しい生活様式を踏まえながら先進事例等から研究を重ね、取り組むこと。
4. 大森台(櫛ヶ丘)宅地開発事業について、適時現場視察を行い、計画の進捗状況を注視していくこと。
5. 太陽光発電施設の設置に関して、国や県の動向を注視し、地域課題解決に向けた研究を進めるとともに現地確認・現地視察等も実施していくこと。
6. 自治会組織のあり方について、各地区の情勢を踏まえた課題の把握に努め、持続可能な組織づくりに向けた調査研究を行うこと。
7. 外国籍市民については、就業、教育等の現状を把握し、課題解決に向け取り組むこと。

正副議長立候補制度

▼立候補手続き

- ・所定用紙にて議会運営委員会へ届出 ※正副議長への重複立候補はしない

▼立候補者演説会

- ・8月臨時会で**立候補者による所信表明演説**を実施
- ・立候補演説10分以内、質疑1人5分以内で実施
- ・ケーブルテレビにて**公開**

引き継ぎ事項に対し
てどうしていくのか

▼投票行為

- ・単記無記名による投票行為
- ・原則として立候補者氏名を記入（法的には候補者以外の氏名を記入しても有効）



実践事例 1

議長職における引き継ぎ事項 からの実施事例

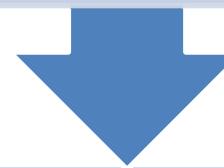
～議会BCPの策定とBCPに基づいた
議会防災訓練について～

議長職における引継ぎ事項

平成27年

2.議会BCPの策定について検討すること

議会BCP(案)を作成

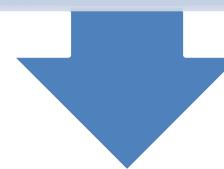


議長職における引継ぎ事項

平成28年

2.議会BCPの策定をすること

議会BCP策定PTにより策定



議長職における引継ぎ事項

平成29年

5.BCPに基づく実践訓練を行うこと

議会BCPに基づいた
議会防災訓練を実施



・議員は災害時には災害情報を携帯・タブレット端末などを活用し、災害現場の写真などを議会事務局に報告します。
(写真は訓練なので、各地の防災訓練の様子を報告)

6月初旬 新型コロナ感染症の拡大を受け議長からBCPの見直し提案
→プロジェクトチームによる改定作業(3回の会議)

7月末 議会BCP改定

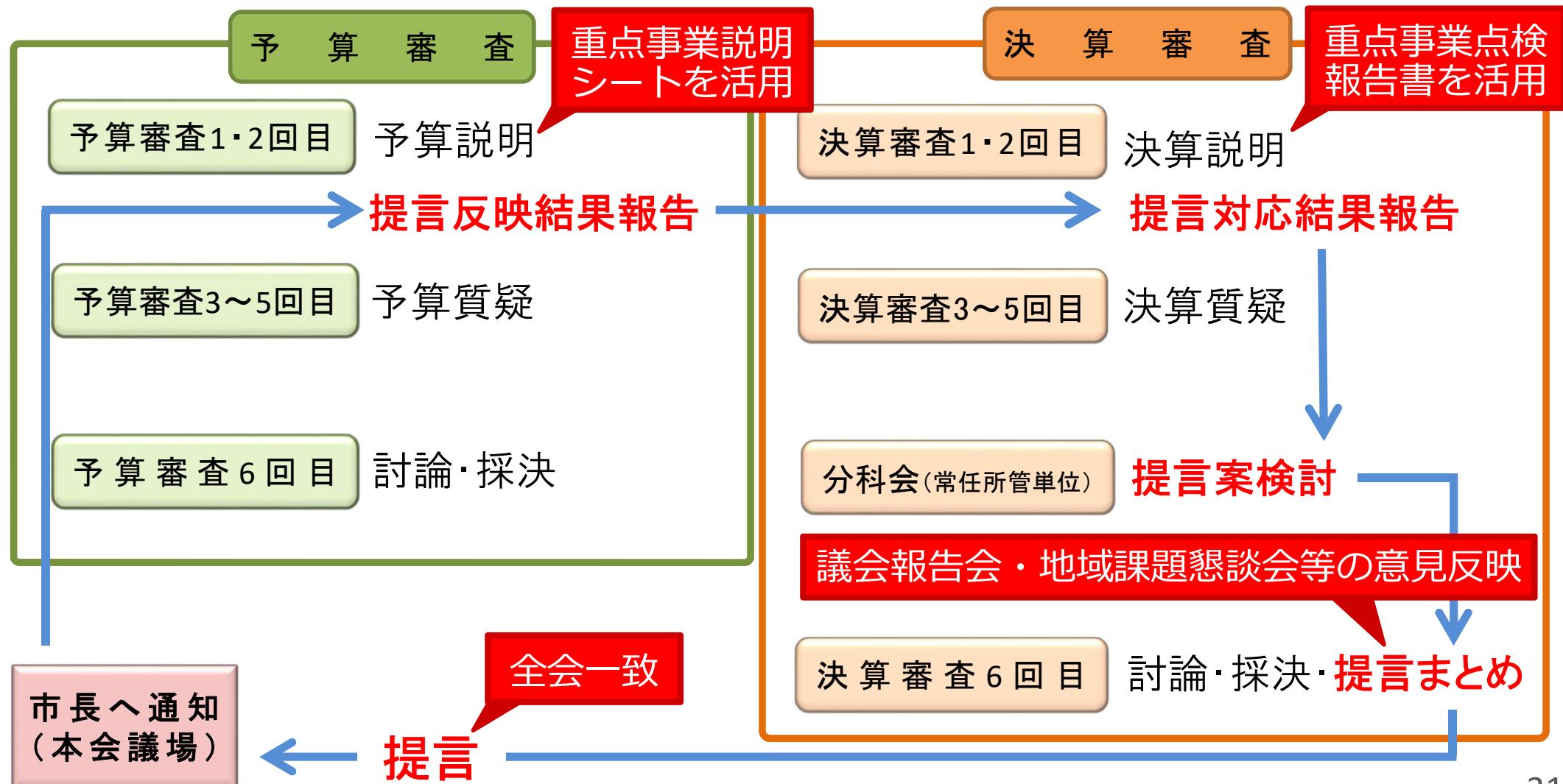
<主な変更内容>

- ・感染症のまん延を災害の1つに定義付け
- ・感染症等編の追加(対策事例、対応フローの追加等)
- ・災害時対策会議の招集条件等の変更



予算決算審査サイクル

予算決算委員会：議員20人で構成(議長・監査委員を除く)



重点事業説明シートの活用

重点事業説明シート

重点方針		高齢者の安気づくり																				
総合計画	1 - 2 - 1 総合戦略	4 - (2) - ①	所属	福祉 部	高齢福祉 課																	
事業名	包括的支援事業・任意事業費			予算額	124,388 千円				会計	介護保険	款 3 項 2 目 1											
	事業期間	継続	平成 年度	~	平成 年度																	
4年後に実現したい姿	住み慣れた生活の場において、必要な医療や介護が受けられ安心して生活できる地域包括ケアシステムが構築されている。																					
実施内容	<p>【包括的支援事業】 地域包括支援センターを運営し、高齢者にかかる総合相談、権利擁護業務、包括的継続的ケアマネジメントを行う。</p> <p>【地域包括ケアシステム推進事業】 地域における生活支援サービス体制が整うよう支援する。また、在宅医療と在宅介護の連携を確保し、地域、医療、介護の三者が連携しあいながら、支援を必要とする高齢者を見守る地域づくりを支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地域包括支援センターに、認知症地域支援推進員を配置し、認知症カフェなど地域での認知症の方への支援体制を構築する。 地域ケア会議を開催し、高齢者の住み慣れた住まいでの生活を支援するとともに、地域の課題を把握する。 <p>【任意事業】 適正な介護給付を図るとともに、高齢者及び介護を要する人に対して必要なサービスを提供する。</p> <p>認知症サポートーの養成を行い、地域での認知症の方の見守りを強化する。</p> <p><平成29年度新規取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センターの効果的効率的な地域支援のために、担当地域の変更を行い、帷子地区を担当するセンターを増設する。 各地域に第2層協議体及び生活支援コーディネーターの設置に向けて、情報発信・気運作りを実施する。 認知症初期集中支援チームを配置し、認知症への早期診断、早期対応の支援体制を構築する。 																					
説明資料（写真・地図等）																						
指標		達成状況	H27	H28	H29	H30	H31	H32														
認知症サポートー登録件数		目標値	-	4,500人	6,500人	7,000人	7,500人	8,000人														
参考指標	地域包括支援センターの相談件数		結果	3,843人																		
年度		27年度決算		28年度予算		29年度予算																
事業費		92,426		117,269		124,388																
財源内訳	国庫支出金	36,596		45,694		48,511																
	県支出金	18,298		22,846		24,255																
	地方債	0		0		0																
	その他	37,532		48,729		51,622																
	一般財源	0		0		0																

重点事業説明シート

重点方針		地域・経済の元気づくり、まちの安全づくり										
総合計画	3 - 2 - 6 総合戦略	- - -	所属	建設 部	都市整備 課							
事業名	可児駅東土地区画整理事業(可児駅東土地区画整理事業特別会計)			予算額	20,000 千円							
事業期間	終期あり			平成 11 年度	~ 平成 32 年度							
4年後に実現したい姿	駅前広場(東側)を整備して交通結節点としての機能強化を図り、来訪者を迎える可児市の「玄関口」を整備し、可児駅東土地区画整理事業を完了する。											
実施内容	<p>駅前広場(東側)の整備に支障となるJR東海の鉄道施設(信号ケーブル)の移設や既存樹木の伐採を行い、駅前拠点施設に隣接した4号線の整備を行う。</p> <p><平成29年度新規取り組み></p>											
説明資料（写真・地図等）												
指標		達成状況	H27	H28	H29	H30	H31	H32				
交通利便性・安全性に満足している人の割合		目標値	28.6%(H26)	-	-	45.4%(H30)	-	-				
		結果	-	-	-	-	-	-				
事業進捗率: 累計事業費/総事業費		目標値	94.6%	94.9%	95.1%	99.2%	99.8%	100.0%				
		結果	94.6%									
年度		総事業費(見込)	~27年度決算	28年度予算	29年度予算	29年度予算	30年度(見込み)	31年度(見込み)	32年度(見込み)			
事業費		8,941,035	8,454,315	27,700	20,000	367,160	50,160	21,700				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	8,941,035	8,454,315	27,700	20,000	367,160	50,160	21,700				
事業内容		委託費 工事費 用地・補償費 負担金	委託費 工事費	委託費 工事費 補償費 負担金(移設)	委託費	委託費	委託費					

重点事業点検報告書 (決算時)

重点方針	高齢者の安気づくり			所属	福祉部		高齢福祉課	
総合計画	1	-	2	-	1	2	総合戦略	
事業名	包括的支援事業・任意事業費 【介護保険特別会計(保険事業勘定)】	決算額			132,220,859 円			
	款項目	保3	2	1	決算実績報告書頁	123		
対象年度に目標する事業の成果	住み慣れた場において、必要な医療や介護が受けられ安心して生活できる地域包括ケアシステムの構築を進めます。							
実施結果	<p>○包括的支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターの受持ち地域を東南、南西、西部地域包括支援センターを、南東、帽子、土田地域包括支援センターとし、兼山地区を可児市地域包括支援センターから北部地域包括支援センターの受け持ちとしました。これにより、6つの地域包括支援センターで、高齢者にかかる給食会員料、福利厚生費、包括的連携事業、包括的連携のケアマネジメントを行いました。(運営委託料:70,067,276円) ・総合相談実績:4,896件、高齢者虐待:5件、包括的連携のケアマネジメント相談:659件、福利厚生費:1回、介護支援専門員研修:3回 ○地域包括ケアシステム整進事業 ・市金庫に支え合い活動を推進するため、第1層協議体「あんしんづくりサポート委員会」を10回開催しました。また、委員会の円滑実施のためのプロジェクトチームを12回実施しました。支え合い実動推進目的に、市民向けフォーラムを実施しました。 ・在宅医療・介護連携推進プロジェクトチームを編成し、研修会と交流会を行い、該の見える關係づくりを行いました。また、多職種間の情報連携を円滑に行うための共有シートを作成し、H29年4月より運用を開始します。 ・地域における生活支援の体制づくりのため、地域包括支援会議(地域ケア推進会議)を全14地域で実施しました。 ・地域包括ケアシステム委員会モデル地区において、地域ケア会議を4回、勉強会を3回実施し、地域と介護関係者との意見交換・情報共有の場としました。 ・認知症の方への支援として、地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し、認知症カフェ(9会場)、もの忘れ団ごと相談(97回)を開催、認知症ガイドブック、可児市オレンジプランを作成しました。 ・認知症集中支援チームを設置し、認知症の早期診断・早期対応の支援を行いました。 ・地域ケア認証会議を9回(17事例)、介護予防マネジメント支援会議を5回(10事例)を実施し、高齢者の住み慣れた住まいでの生活の支援とともに、地域の課題の共有を図りました。 ○任意事業 ・介護用品購入助成事業 納付額:27,116,159円(H28年度:23,116,401円) <ul style="list-style-type: none"> ・おむつ:606枚(H28年度:707枚)、防水シート:349枚(H28年度:267枚)、ねまき:307枚(H28年度:230枚)、肌着:317枚(H28年度:254枚) ・安否確認・記食サービス事業 月平均利用者数:186件(H28年度:164件)、年間割引料金数:54,056食(H28年度:44,365食) ・認知症サポーター養成講座を32回開催し、2,008人のサポーターを養成しました。 							
実績結果	<p>○包括的支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帽子、土田地域包括支援センターを配置し、高齢者人口に応じた職員配置を行いました。 ○地域包括ケアシステム整進事業 ・住民医療介護連携のプロジェクトチーム会議を立て上、専門職同士の顔の見える關係づくりを行いました。 ・市内14地区で、地域福祉懇話会を開催しました。 ○任意事業 ・介護用品購入助成事業について、制度の持続性を高めるための検討を行いましたが、改正には至っていないため今後も継続して検討を行います。 							
	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	対象年度の目標値に対する達成状況	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	
指標①	認知症サポートー登録件数	A	3,500人	4,500人	6,500人	7,400人	8,200人	9,000人
指標②			3,843人	5,137人	7,145人			
指標参考	地域包括支援センターの相談件数(実数)	3,384件 (1,762件)	3,837件 (1,932件)	4,895件 (1,969人)				
	年度	28年度決算		29年度決算		30年度予算		
	事業費(千円)	121,114		132,221		166,390		
	国支出金	44,588		49,796		62,839		
財源内訳	県支出金	22,294		24,898		31,419		
	地方債							
	その他	54,232		57,527		71,132		
	一般財源							
備考分類	<p>・帽子地域包括支援センターの事務所をとうのう病院内に設置しているため、相当地域内への事務所移転が必要です。</p> <p>・介護用品購入助成事業について、利用者数と助成額が増加しています。</p>							
備考分類	<p>・地域の福祉課題や住民同士が地域の情報を共有する場として、地域福祉懇話会を各地区で継続的に開催します。</p> <p>・要介護者等の医療と介護をつなぐ入院時の情報共有シートを作成し、H30年4月に運用開始しました。今後、退院時の情報共有シートについて、統一様式の作成を検討します。</p>							
ボーナスの取組	<p>・帽子地域包括支援センターの事務所を相当地域内に移転するため、適切な場所の確保と委託先との調整等を行います。</p> <p>・介護用品購入助成事業について、安定的で公平な制度となるよう事業内容を継続的に検討します。</p> <p>・H29年7月にサポーター成長目標数の見直しを行い、H32年度末までに、9,000人(人口の約9%)としました。その目標を達成するため、引き続き、企業や学校等での講座が開催されるよう働き掛けを行います。</p> <p>・在宅医療介護連携推進PT会議において、市民へ在宅で受けられる医療・介護サービスの周知を行います。また、会議で医療と介護の切れ目のない連携体制を確立し、地域の実情にあったサービスを検討します。</p>							

重点方針	地域・経済の元気づくり、まちの安全づくり			所属	建設部	都市整備課			
総合計画	3	-	2	8	総合戦略	-	-		
	4	-	4	3					
事業名	可児駅東土地区画整理事業 【可児駅東土地区画整理事業特別会計】	決算額		13,974,747 円	決算額	13,974,747 円			
	款項目	1	1	1	款項目	129			
対象年度に目標する事業の成果	土地区画整理地内の緑地整備や電線地中工事を行うとともに、H30年度から始まる駅前広場整備の準備としてJRケーブル移設工事を行います。								
実施結果	<p>可児駅東土地区画整理事業は、施工面積10.5haでH11年度に事業計画が認可され、H14年度に仮換地指定を行い、事業に着手しました。H29年度末現在、駅前広場以外の整備はほぼ完了しています。</p> <p>＜委託料＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可児駅前広場内立木伐採業務 712,800円 <p>＜工事費＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可児駅東土地区画整理事業4号線地整備工事 4,678,560円 ・可児駅東西自由通路(東側)洗末排水路整備工事 1,163,160円 ・可児駅東西自由通路(西側)洗末排水路整備工事 199,800円 ・今広踏切仮設排水路設置工事 138,456円 ・その他工事(5件) 263,142円 <p>＜負担金＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR可児駅信号ケーブル移設負担金 5,556,436円 								
進捗状況	予定どおり進捗しており、H30・31年度にかけて、可児駅東広場の工事に着手する予定です。								
成果物の写真・地図等									
	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	対象年度の目標値に対する達成状況	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果		
指標①	事業進歩率 累計事業費/総事業費 (%)	B	94.6%	94.9%	95.1%	99.2%	99.8%		
指標②			94.6%	94.8%	93.7%				
指標参考									
	年度	28年度決算		29年度決算		30年度予算			
	事業費(千円)	16,496		13,975		277,500			
	国支出金								
財源内訳	県支出金								
	地方債								
	その他								
	一般財源								
備考分類	<p>・帽子地域包括支援センターの事務所をとうのう病院内に設置しているため、相当地域内への事務所移転が必要です。</p> <p>・介護用品購入助成事業について、利用者数と助成額が増加しています。</p>								
備考分類	<p>・地域の福祉課題や住民同士が地域の情報を共有する場として、地域福祉懇話会を各地区で継続的に開催します。</p> <p>・要介護者等の医療と介護をつなぐ入院時の情報共有シートを作成し、H30年4月に運用開始しました。今後、退院時の情報共有シートについて、統一様式の作成を検討します。</p>								
ボーナスの取組	<p>・帽子地域包括支援センターの事務所を相当地域内に移転するため、適切な場所の確保と委託先との調整等を行います。</p> <p>・介護用品購入助成事業について、安定的で公平な制度となるよう事業内容を継続的に検討します。</p> <p>・H29年7月にサポーター成長目標数の見直しを行い、H32年度末までに、9,000人(人口の約9%)としました。その目標を達成するため、引き続き、企業や学校等での講座が開催されるよう働き掛けを行います。</p> <p>・在宅医療介護連携推進PT会議において、市民へ在宅で受けられる医療・介護サービスの周知を行います。また、会議で医療と介護の切れ目のない連携体制を確立し、地域の実情にあったサービスを検討します。</p>								

令和4年(2022年) 可児市議会 第5回定例会(8月・9月)会期日程

月	日	曜日	開始時間	議事内容等	備考
8月12日		金		代表質問受付開始(8:30)	会期36日
13日		土			
14日		日			
15日		月		代表質問(大項目)締切(10:00)	代表質問詳細は一般質問締切と同じ
16日		火		一般質問受付開始(8:30)	招集告示
17日		水		開幕・議事締切(正午)	議運・全協打合せ(13:00)
18日		木	9:00 議運終了後 全協終了後 運営会議終了後	議会運営委員会 議会全員協議会 広報広聴運営会議 広報部会、広聴部会	
19日		金			議案書・決算書配付(8:30)
20日		土			中学生議会
21日		日			
22日		月		代表質問・一般質問締切(11:00)	次第書打合せ(13:00) 一般質問執行部へ提出(14:00) 通告一覧表はとりまとめ後公表
23日		火	9:00 本会議終了後	本会議(提案・議案付託) 予算決算委員会(補正予算)	
			13:00	予算決算委員会(決算・総務企画所管)	
24日		水	9:00	予算決算委員会(決算・建設市民所管、教育福祉所管)	
25日		木	9:00	予算決算委員会(予備日)	
26日		金	休会		
27日		土	"		
28日		日	"		
29日		月	"	討論締切(10:00)	(調整後執行部提出)
30日		火	"	討論締切(10:00)	
31日		水	"		次第書打合せ(13:00)
9月1日		木	9:00 本会議終了後	本会議(一般質問) 広報部会	※全ての一般質問終了後、議案質疑及び議案付託を行います。
2日		金	9:00 本会議終了後	本会議(一般質問) 広聴部会	
3日		土	休会		
4日		日	"		防災訓練
5日		月	9:00	本会議(一般質問予備日)	
6日		火	9:00	予算決算委員会(総務企画所管・建設部・市民部)	
7日		水	9:00	予算決算委員会(水道部・文化スポーツ部・教育福祉所管)	
8日		木	9:00 委員会終了後	総務企画委員会 予算決算委員会分科会(総務企画所管)	
9日		金	9:00 委員会終了後	建設市民委員会 予算決算委員会分科会(建設市民所管)	
10日		土	休会		
11日		日	"		
12日		月	9:00 委員会終了後	教育福祉委員会 予算決算委員会分科会(教育福祉所管)	
			13:00	議会運営委員会協議会	
13日		火	休会		
14日		水	9:00	予算決算委員会(討論・採決・提言とりまとめ)	
15日		木	休会		
16日		金	"		
17日		土	"		
18日		日	"		
19日		月	"		敬老の日
20日		火	"		
21日		水	"	討論締切(正午)	
22日		木	"		議運(予備日)打合せ(13:00)
23日		金	"		秋分の日
24日		土	"		
25日		日	"		
26日		月	(9:00)	議会運営委員会(予備日)	議運・次第書打合せ(13時又は議運終了後)
27日		火	9:00 本会議終了後	本会議(委員長報告・討論・採決・閉会)	

名前	種類	圧縮サイズ	パスワード保... 有無	サイズ	圧縮率	更新日時
 00 決算資料一覧	Microsoft Edge PDF Docu...	37 KB	無	40 KB	6%	2022/08/05 12:00
 01 重点事業点検報告書	Microsoft Edge PDF Docu...	17,987 KB	無	18,245 KB	2%	2022/08/17 14:23
 02 予算決算委員会審査結果報告...	Microsoft Edge PDF Docu...	199 KB	無	203 KB	2%	2022/08/09 16:30
 03-1 普通会計決算分析 本編	Microsoft Edge PDF Docu...	649 KB	無	685 KB	6%	2022/08/09 16:22
 03-2 普通会計決算分析 資料編	Microsoft Edge PDF Docu...	477 KB	無	493 KB	4%	2022/08/09 16:19
 03-3 水道事業会計決算分析	Microsoft Edge PDF Docu...	419 KB	無	442 KB	6%	2022/08/10 15:13
 03-4 下水道事業会計決算分析	Microsoft Edge PDF Docu...	288 KB	無	317 KB	10%	2022/08/10 15:00
 04 健全化判断比率等の概要について	Microsoft Edge PDF Docu...	650 KB	無	740 KB	13%	2022/08/16 17:57
 05 決算カード	Microsoft Edge PDF Docu...	164 KB	無	168 KB	3%	2022/08/17 9:12

第5回(9月)定例会における予算決算委員会の進め方について

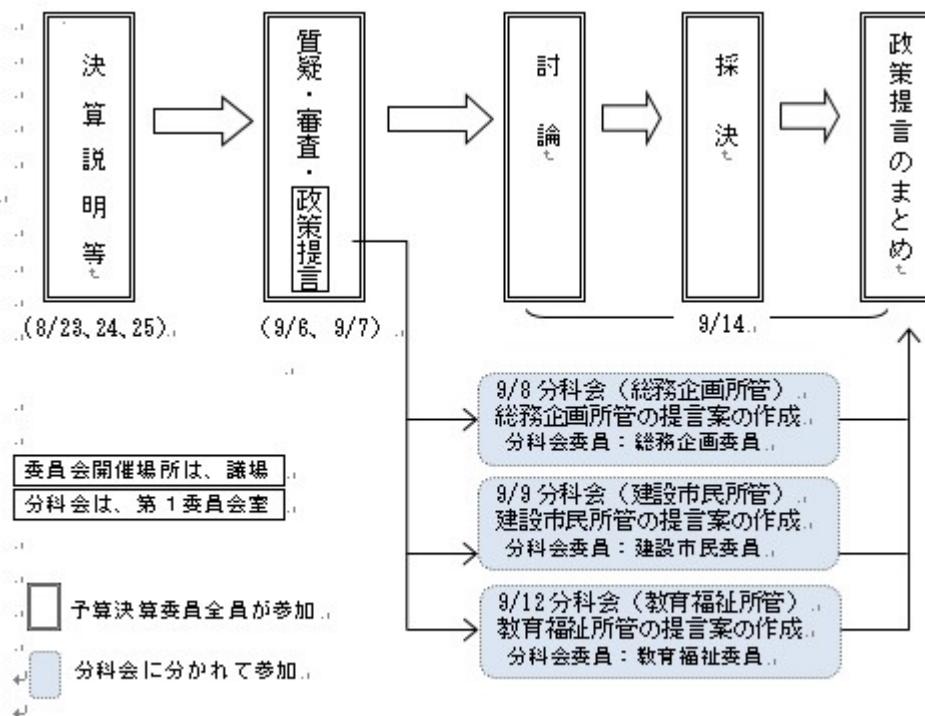
(1) 決算審査の方法について

予算決算委員会では、決算審査を行うとともに、その審査結果をもとに、今後の予算編成および執行に向けて執行部に政策提言を行います。

その政策提言をより充実したものにするために、常任委員会ごとに分科会（議長、監査委員、予算決算正・副委員長除く）を設置し、討議を行い、予算決算委員会最終日に取りまとめ、本会議最終日の委員長報告への付記、または付帯決議を検討します。

(2) 決算審査の順序について

初日（8/23）本会議終了後から、決算等の説明を執行部に求めます。



(3) 決算説明の対象事業

- ①「重点事業点検報告書」の掲載事業（全事業）
- ② 前年度の決算額に比べて増減が大きい事業（前年度比±20%以上を目安）
- ③ その他 不用額が多い等、所管課において説明が必要と判断とした事業

（参考）令和4年度 当初予算 審査時（令和4年3月議会）

説明対象事業	R3当初 全事業	R4当初 ⇒ 重点事業 前年増減 20%以上
説明事業数	279事業	⇒ 145事業
説明時間（3日間計）	8時間39分 (519分)	⇒ 6時間24分 (384分)
説明時間（1事業あたり）	1.86分	⇒ 2.64分
質疑数	86項目 (13議員)	⇒ 112項目 (13議員)

(4) スケジュール

①補正予算案・決算説明（8月23日・24日・25日）

8月23日（火）本会議終了後 10:15～（予定）
補正予算、提言の回答

- 1. 補正予算（各所管課）
 - 2. 決算における提言の対応状況
- （参考：前年 60 分）

8月23日（火） 13:00～
総務企画委員会所管（歳入・歳出）

- 1. 決算の総括（財政課） （新）
 - 2. 岁入（財政課、税務課、収納課） （前年 45 分）
 - 3. 市長公室所管
企画部所管、議会事務局所管
 - 4. 総務部所管
会計課、監査委員事務局含む
 - 5. 観光経済部所管
農業委員会事務局含む
- （前年 30 分）
- （前年 50 分）
- （前年 45 分）

8月24日（水） 9:00～16:00

8月25日（木） 予備日
建設市民委員会所管

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 水道部所管 | （前年 80 分） |
| 2. 建設部所管 | （前年 60 分） |
| 3. 文化スポーツ部所管 | （前年 30 分） |
| 4. 市民部所管 | （前年 30 分） |

教育福祉委員会所管

- | | |
|---------------|-----------|
| 1. こども健康部所管 | （前年 60 分） |
| 2. 福祉部所管 | （前年 90 分） |
| 3. 教育委員会事務局所管 | （前年 30 分） |

「決算審査意見書」説明 監査委員 （前年 50 分）

まずは「重点事業点検報告書」の掲載順に、事業の概要、「成果物の写真・地図等」や「今後の課題」の要点説明を求める。特定財源のある事業はその内訳、前年度対比が大きい事業はその理由の説明を求める。
次に「重点事業」の指定はないが、決算額が前年対比 20%以上増減のある事業や不用額の多い事業について、歳入歳出決算実績報告書の掲載順に、その理由の説明を求める。

説明に対する質疑は行わないが、補足説明の要求は認める。
配付資料のうち、「重点事業点検報告書」は原則として電子ファイルとする。
また参考資料についても 同様の扱いを検討する。
教育福祉委員会所管の説明終了後に、議員選出の監査委員から「決算審査意見書」の説明を受ける。
執行部は、常任委員会の所管ごとに課長以上の出席を求め、市長及び副市長、教育長は必要に応じて出席を要求する。

②質疑締切 8月29日(月) 12:00まで

- ・補正予算、提言の回答、決算説明について 質疑通告を指定の様式にて
電子データで議会事務局へ 提出すること。+
・質疑の対象は説明の有無に関わらず、一般事務事業を含め 全事業 とする。+
・質問事項は 討論に付すべき内容か、執行部への提言に結びつく内容であるか
を各委員において十分に精査すること。
(単純に数値を聞くだけの質問等は、委員長の方で調整をする場合があります)+
・質疑は議員から提出されるごとに 所管課へ送付する場合がある。
・質疑内容の調整、取りまとめは、締切後 正副委員長と議会事務局で行う。
質疑内容の確認等をするため、各委員は連絡が受けられる体制にしておくこと。
・質問を整理し、常任委員会ごとに一覧表を作成する。
・質疑の取りまとめ結果は 職員掲示板にて執行部に通知する。
(8月31日(水) 通知予定)+

③質疑・審査・政策提言 [9月6日・7日] +

総務企画委員会所管	9月6日 (火)	9:00～
建設市民委員会所管	9月6日 (火)	総務企画終了後～
建設市民(続き)	9月7日 (水)	9:00～
教育福祉委員会所管	9月7日 (水)	建設市民終了後～

【質疑の数により 所管ごとに時間配分し 後日通知します】+

- ・質疑及び審査についても、説明と同様に 常任委員会所管ごとに令和4年度補正
予算案、令和3年度一般会計、特別会計、企業会計の各決算の順に実施する。
・執行部は、常任委員会の所管ごとに部長及び課長職が出席し答弁する。
・市長及び副市長、教育長は必要に応じて出席するものとする。

【質疑・審査】+

- ・質疑は事前通告制とし、質疑に関連する質問はその都度認める。
・出席している執行部への新たな質疑の要求がある場合は、口頭でも可能とす
る。なお、それぞれ一問一答とし、関連質疑は認める。
・所管ごとの質疑事項一覧表の順に、質問議員が発言し、執行部が答弁する。
・質疑は原則として一問一答とするが、複数の議員が同内容の質疑を提出した場
合は、その質疑を提出した議員全員が順に質疑を行い、答弁は一括して行う場
合がある。

【政策提言(発言のみ)】+

- ・質疑が終了し執行部が退席した後、委員全員が政策提言を行う項目を洗い出す
ため、質疑・審査での答弁や議会報告会での意見、当年度の予算執行状況など
を参考に、自由討議にて議論を深める。予算決算正副委員長は出された意見を
所管ごとに分類し、分科会に向けての論点整理を行う。それを基に分科会会长
(各常任委員会委員長)が分科会の資料作成を行う。

④分科会 [9月8日・9日・12日]

(議員のみ) ↗

総務企画委員会所管	9月 8日 (木)	総務企画委員会終了後
建設市民委員会所管	9月 9日 (金)	建設市民委員会終了後
教育福祉委員会所管	9月 12日 (月)	教育福祉委員会終了後

- ・各常任委員会終了後、それぞれ第1委員会室へ移動して開催する。 ↗
- ・分科会委員は、予算決算正副委員長・議長・監査委員を除く各常任委員会委員とする。 ↗
- ・分科会会长は各常任委員長、分科会副会長は各常任副委員長とし、その他の委員は、分科会委員とする。 ↗
- ・分科会には予算決算委員会 正副委員長が出席して意見を述べることが出来る。 ↗

- ・議長、監査委員は所属の常任委員会において、委員外議員として発言を許可する場合がある。 ↗
- ・出席は議員のみとし、執行部には可能な範囲で自席待機を求める。 ↗
- ・予算決算委員会での自由討議や分科会で新たに出了意見を整理し、分科会として次年度当初予算の編成に向けた政策提言案をまとめる。 ↗
- ・分科会会长は政策提言案を9月14日開催の予算決算委員会で報告する。 ↗

⑤討論・採決・政策提言とりまとめ 9月14日(水) 9:00~ (議員のみ) ↗

- ・討論及び採決は、令和3年度一般会計、特別会計、企業会計の各決算、令和4年度補正予算案の順に実施する。 ↗
- ・各決算及び補正予算案に対して積極的かつ簡潔に討論を行う。 ↗
- ・討論・採決の後に、各分科会長が政策提言案を報告する。政策提言案に対して自由討議を行い、政策提言をまとめる。政策提言は、全会一致となるもののみを採用する。なお、原則として分科会を経ていない新たな提言案は追加しない。 ↗
- ・政策提言を委員長報告に付記する意見、または附帯決議案とするかを検討する。 ↗
- ・出席は議員のみとし、執行部は必要に応じて委員長が招集する。 ↗

(5) 本会議における委員長報告について [9月27日] ↗

- ・本会議最終日に行う委員長報告については、質疑・応答部分の報告を簡略化し、討論を中心に記載する。 ↗
- ・委員長は9月20日(火)正午までに 報告原稿を事務局へ提出する。 ↗
- ・本会議での予算決算委員会委員長報告に対する所属委員の質疑は、申し合わせに基づき行わない。 ↗

決算資料は 財政課から提供を受けた後、 ↗

議会グループウェアに掲載します。 ↗

(容量が大きく 個別メールへの送信ができません) ↗

紙ベース(白黒)を希望される方は、 ↗

本日(8/18)中に 事務局へ連絡願います。 ↗

実践事例 2

予算決算委員会からの 当初予算に対する附帯決議 からの対応事例

～いじめ防止関連当初予算審議において、
施策の推進体制や権限等を根拠づける条例
の整備を求める～

▼決算審査による予算編成への提言

決算審査において予算決算委員会で所管ごとに分科会を開催し、自由討議の上、全会一致で提言内容を決定。次年度予算編成にどう反映されたのか報告を受ける。

▼委員会からの附帯決議および提言

委員会において自由討議を実施し、附帯決議や提言内容を決定。本会議にて採決する。

- ・**子どものいじめ防止に関する条例**

▼空き家等の適正管理に関する条例

(案) の提案

市民からの要望に基づき所管委員会が調査研究を行い提案したもの

→平成26年第4回臨時会にて制定

予算決算委員会審査結果報告に対する対応（平成 27 年度当初予算）

1. 職員の確保および育成について

職員数については、可児市定員管理計画に定める 523 人を確保するよう努めること。また、重要施策推進のための職員配置や専門性を高める人材育成に取り組むこと。

平成 27 年度の対応

事務職、土木技術職などの一般職、保健師などの医療職、保育士などの福祉職の採用について、可児市に適した人材を見極め、定員管理計画に沿った職員数を確保するよう努めます。

また、高齢者の安づくりや子育て世代の安心づくりなど 4 つの重点方針を具現化するため臨床心理士、精神保健福祉士などの専門職を募集するとともに、専門研修への派遣及び実施により、人材育成に取り組みます。

2. 臨時財政対策債のあり方について

市債は将来世代への負担となるものである。財政調整基金や公共施設整備基金などの積み立て残高を考慮しながら、臨時財政対策債の借入額を適正に決定すること。

平成 27 年度の対応

臨時財政対策債は、地方の一般財源の不足に対処するため、投資的経費以外の経費にも充てられる地方財政法第 5 条の特例として発行される地方債です。地方交付税として算定されるべき額の一部が、代替財源としての臨時財政対策債の発行に振り替えられるという形であり、発行可能額の元利償還金相当額全額が後年度、地方交付税の基準財政需要額に理論的に算入されることとなっているのですが、当市では、以前より発行可能額の一定割合に抑制して借り入れしてきました。平成 27 年度予算においては、基金の状況を勘案し、更なる抑制を行っています。

平成 27 年度予算措置

（単位：千円）

項 目	予 算 額		
	平成 27 年度	平成 26 年度	前年度対比
臨時財政対策債	694,800	1,100,000	△405,700
財政調整基金繰入金	942,000	812,000	630,000
公共施設整備基金繰入金	0	200,000	△200,000
合 計	1,636,800	1,612,000	24,300

予算決算審査による提言等

平成23年9月から

平成26年度予算措置

事業名
災害対策経費
防災行政無線整備
地域防災力向上
非常備消防一般

2. 地

2. 市が支出行し、その

平成23年度あります。具査し、その効その後、事業を補助金の執行員会においてしました。

なお、平成めています。

3. コミュニとりに対するM局を開局十分検証しまた、こうもに、対象いてもル

FMの出資断し、400万児市の世帯数出資比率のど、事業によ今後も、事業

4. 市長の重ラブの建設における子また、対象

3. リニアリニアな取り組みを努めること

平成26年10月においては本市とう、不安感窓口となるこのた計画課題となっています。

土田小学校児童が既に完成の状

児童クラブの制度の見直

1件の予算修正

平成29年度の対応結果

可児市再生可能エネルギー戦略実現のため、「新たなエネルギー社会づくり事業提案」を基本に推進を行ないました。新たに提案が検討されています木質系バイオマス

については、提案書の提出に向けた、協議を行なっています。また、既に提案のあつ

たる木質系バイオマスについては、課題もしくは、(成29年度)補助金をめぐらしくて

いたる議論には、「成29年度)補助金をめぐらしくて

事業名	事業費		
当初予算額	予算現額	決算額	差引
新たなエネルギー社会づくり事業	10,401	401	135
		266	

4. キッズクラブ運営事業について

急増する保育ニーズに対応するために指導員及び保育施設の確保を進めて、待機児童消しに努力すること。また、本事業の長期的な展望を検討すること。

40件以上の提言

4. キッズクラブ運営事業について
急増する保育ニーズに対応するために指導員及び保育施設の確保を進めて、待機児童消しに努力すること。また、本事業の長期的な展望を検討すること。
4. キッズクラブ運営事業について
急増する保育ニーズに対応するために指導員及び保育施設の確保を進めて、待機児童消しに努力すること。また、本事業の長期的な展望を検討すること。

平成29年度予算措置 (単位:千円)

事業名	事業費			
	当初予算額	予算現額	決算額	差引
キッズクラブ運営事業	206,610	206,610	203,314	3,296

の対応の結果

地方を得

風15号の教訓から、浸水原因を明確し、これらの集ま

たあ

議会)に対

ました

る施策の更なるるものについて

本制の

町川水

0mm携帯

新たな社会貢献と、地域通貨の置奨励金を4事

たは拡張する企

した。泉交信

とした。49

3,1,222

3,954

3,1,127

4,344

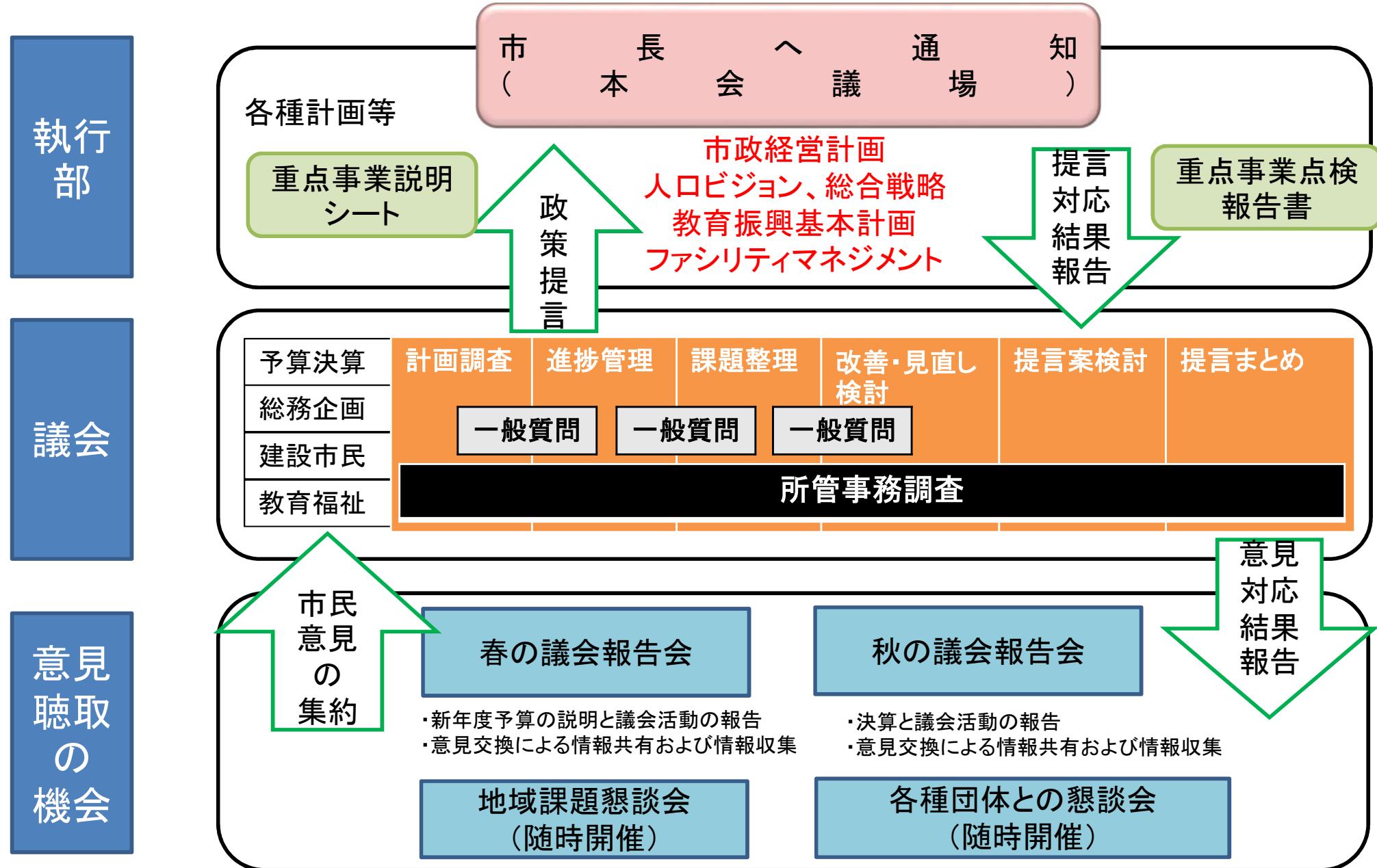
5,6,404

6,954

114,683

2,271

意見聴取・反映サイクル



議会報告会の実施

基本条例で毎年開催すると規定している。

開催当時（平成24年2月～）

開催時期：春（5月頃）と秋（11月頃）

開催場所：各地区センター（連絡所）単位

運営方法：副議長、常任委員会、議会運営委員会の委員長及び議会広報
特別委員会正副委員長をメンバーとした議会報告会実施会議

において運営 ※R1.8月からは広聴部会を中心に運営

広報手段：議会だより、ケーブルテレビ、FM放送、フェイスブック、
地域回覧版、チラシ配布等

その他：後日説明の資料と動画を配信

開催状況

第14回（令和元年5月・4会場・75名）

- ▶ 平成31年度予算審査の報告
- ▶ 意見交換 テーマ「災害への備え」
→報告には議会だよりを活用
- 報告および意見交換共にグループ形式
- 最後に会場全体で意見交換結果を共有



第11回（平成29年5月・4会場・64名）

- ▶ 平成29年度予算審査報告
- ▶ 意見交換

テーマ「公民館のコミュニティセンター化に向けて」



- 議員全員が参加（議長、副議長は全会場出席）
- 市民参加者4～6名と議員2名でグループを構成（1会場4グループ）
- 意見交換が活発に行われるようテーマを設定
- 事前に議員がチラシを持って自治連合会に趣旨説明し参加者を募る

with コロナ時代における 議会報告会 のあり方

かつての議会報告会



第16回（令和2年11月）

- ▶ 報告「令和2年度定例会における令和元年度決算認定」「新型コロナウイルス感染症に対する市の施策及び議会の対応」
- ▶ 意見交換 テーマ「コロナ禍における地域活動について」



- ・出席者は市自治連絡協議会14名に限定
- ・議場において、**十分な座席間隔を確保**
- ・一部議員は**オンライン会議室システムを活用**して参加
- ・報告会の様子をケーブルテレビで番組作成し放送（YOUTUBEでも配信）

第18回（令和3年10月）建設市民委員会・建設業連合会



コロナ禍により、自由参加の市民とグループ討議することができない状況。

議会全体の報告会ではなく、各委員会で関係団体との懇談会・意見交換会など、密集にならず参加者が後からでも特定できる方式を選択した。

第20回（令和4年1月） 教育福祉委員会・ 可児市民生児童委員連絡協議会



～完全オンラインの議会報告会～

第22回 議会報告会（令和4年5月）

【第1部】全体「どう使われる？可児市の予算」

(予算決算委員会)

【第2部】意見交換会（ブレイクアウトルーム）

「今こそ考えよう消防団活動」

(総務企画委員会)

「外国籍の人も住みやすい街って？」

(建設市民委員会)

「活用されているの？学校のタブレット」

(教育福祉委員会)



各種団体との懇談会

目的：市民参加の推進と情報公開のため

根拠：
可児市**議会基本条例**第6条第1項（市民参加及び市民との連携）
可児市**議会基本条例**第11条第2項（常任委員会の活動）

懇談団体：総務企画委員会 地域活動団体（3団体）
教育福祉委員会 教育委員



視察報告会の実施

2会派が熊本被災地を視察。
合同で視察内容を報告。

開催時期：平成28年12月2日

開催場所：**本会議場**

参加者：自治会関係者、防災の会、
建設業関係者、職員等



現地の様子を**大型スクリーン**を使って報告

可児市議会熊本被災地視察報告会

熊本地震に
何を学ぶか

開催日時 12月2日（金）午前10時～
会 場 可児市役所5階 議場

主催 可児市議会

可児市議会議員による熊本地震被災地の視察報告会です。
地震への備えや災害への対応等、市民の皆様のご参考になれば幸いに存じます。
ぜひご参加いただきますようご案内いたします。

問合せ 可児市議会事務局 TEL 0574-62-1111（内線3501） FAX 0574-63-3972

参加無料

実践事例 3

一般質問からの委員会 所管事務調査への追加

～可児市内への汚染土壤処理施設の建設設計画～



土壤処理施設着工計画に関する一般質問

平成28年12月定例会

平成28年12月16日
委員会における参考人招致

生活環境・交通安全の問題

類似施設である名古屋リサイクルセンターへ行政視察
※地元役員も同行

所管事務調査:建設市民委員会行政視察

平成29年2月13日

名古屋リサイクルセンター

建設市民委員会引き継ぎ事項

建設予定施設と
ほぼ同等の施設へ行政視察

所管事務調査:建設市民委員会行政視察

平成29年10月31日、11月1日

秋田県大館市(DOWAエコS)

実践事例 4

委員会代表質問

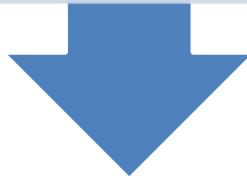
～豪雨時の対応から委員会代表質問につなげ、執行部の体制整備により住民福祉向上へ

～

災害情報の発信の問題

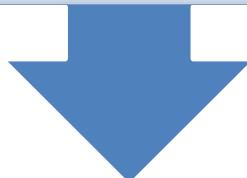
避難勧告発令が市HPでの広報遅延

災害対策本部の体制の問題



平成29年9月定例会

委員会代表質問（総務企画委員会）

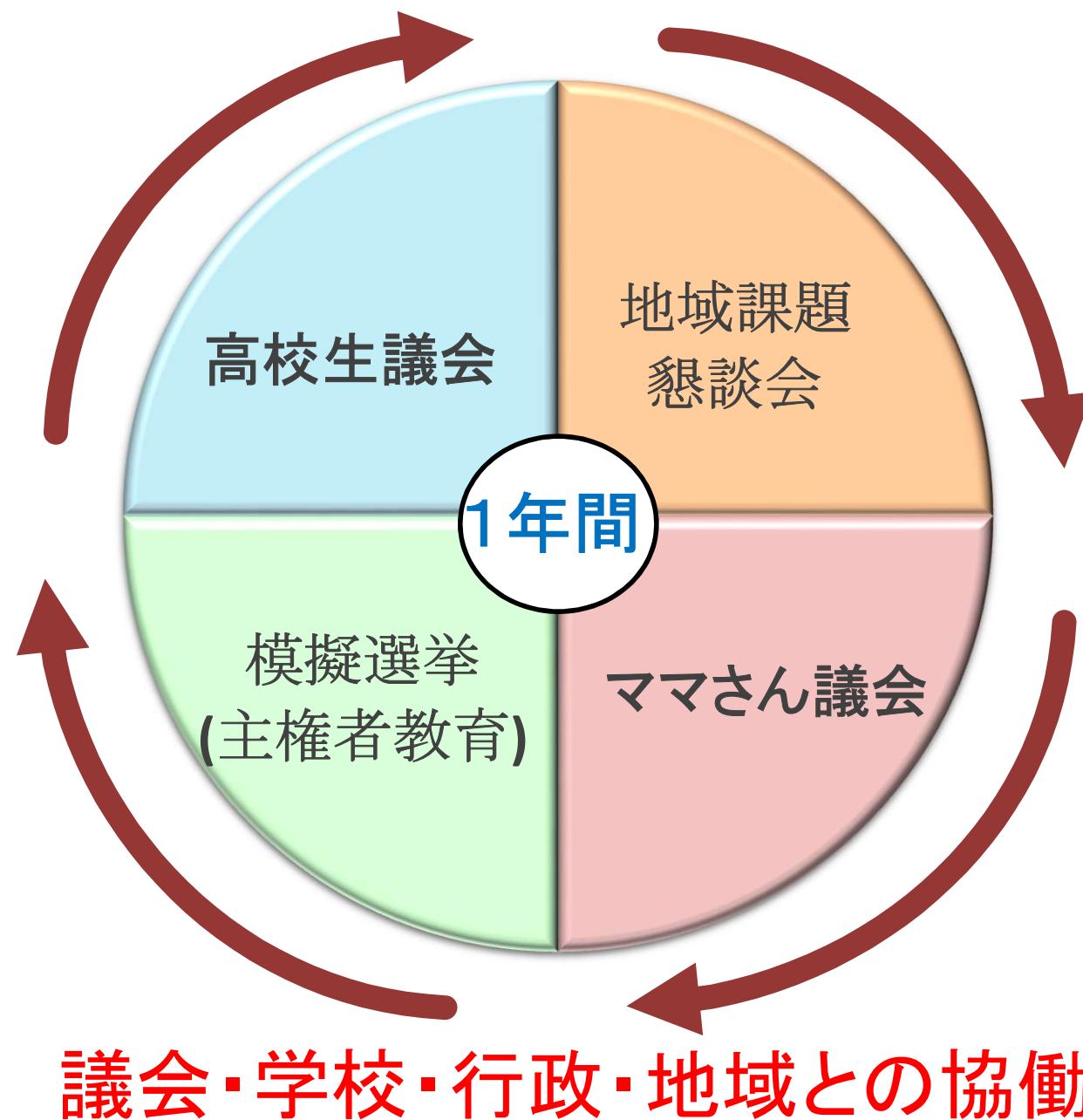


執行部の対応

メール配信サービスのHPでの確認が可能に

「FMらら」の割込放送の検討及びエアメールの開始へ

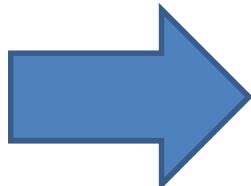
若い世代との交流サイクル



～議会報告会から委員会代表質問へ～

コロナ禍により、市民対象の議会報告会・意見交換会ができない状況。

議会全体の報告会ではなく、各委員会で関係団体との懇談会という形で開催することに決定。



建設市民委員会では、外国籍市民に関わる方との議会報告会（意見交換会）を開催することにした。



可児市の多文化共生の状況や、
ブラジル・フィリピンの方の国民性について、事前に勉強会をしました。

開催日：令和3年11月11日

開催場所：多文化共生センター・フレビア

参加者：外国籍市民代表、国際交流協会職員、

人材派遣会社、ばら教室KANI教員、

教育研究所職員、市人づくり課職員（議員含む16人）

テーマ：「外国籍市民への行政情報の伝達について」

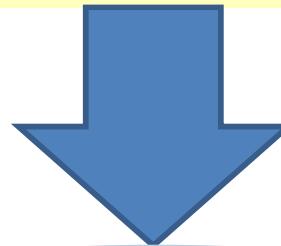
「外国籍の子どもたちの就学状況について」

議長から議会の現状報告の後、
テーマ別の2グループに分かれて意見交換。



意見交換の中で出た意見(抜粋)

- ・地域の自治会の案内などは外国語版がない。
- ・インターネットで情報を得ることが多いが、間違った情報も拡散しやすい。
- ・困り事や相談内容が多種多様なので相談窓口の充実を。
- ・子どもたちのアイデンティティ形成や日本語教育のために母国語教育が重要。
- ・学校や市の窓口において通訳は重要である、人員確保と賃金アップを。
- ・行政や国際交流協会だけの対応に限界がある。地域で課題共有を。



11月15日建設市民委員会（会期前）

12月議会で**代表質問**することを決定。

委員会代表質問(12月定例会)



外国籍市民へ対する行政情報の
伝達に有効な手段の検討は。

通訳の増員は。

子ども達の語学習得の課題は。
夜間中学の必要性は。

【執行部の主な答弁】

- ・「外国籍キーパーソン会議(仮称)」を新設し、行政情報の有効な伝達について検証していく。
- ・小中学校の通訳増員について予算確保を国や県に働きかける方針である。

実践事例 5

ママさん議会からの 施設への提言・要望

～建設中の駅前子育て拠点施設について～

ママさん議会

- ・ママさん議会ワークショップ (H28.7)

8月23日に開催予定のママさん議会の企画会議として開催。

高校生がファシリテーターとなり子育て世代の女性とともに可児市の子育て環境や、駅前に建設予定の拠点施設（現：子育て健康プラザmano）に関する意見交換を実施。子育て世代の女性10名 高校生3名 が参加。

- ・ママさん議会 (H28.8)

子育て拠点施設の運営に関する意見交換を行い、結果を報告。

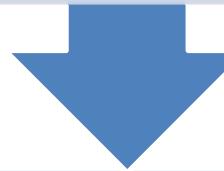
子育て世代の女性の声を聴く機会をもうけることについての意見書を採択。
市長 職員2名 議員18名 子育て世代の女性27名 が参加。



ママさん議会ワークショップ

平成28年7月24日

事前企画会議としてママさん議会で議論する
テーマを決定

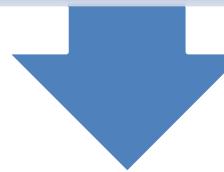


ママさん議会

子育て世代の女性の声を聞く
機会を設けることについての
意見書

平成28年8月23日

意見書を全会一致で採択



執行部への提言

銀行ATMの設置や、施設内
で飲酒等ができるようにという
要望が実現

子育て支援課(旧子育て拠点準備室)へ

ママさん議会で出た意見や提言を集約して伝達

子育て世代との意見交換会

- ・会場を駅前の子育て拠点施設に移して開催 (H31.1)
 - ・子育て世代の女性25名が参加。
 - ・H30.5にオープンした子育て健康プラザ mano を実際に利用して良い点、悪い点を出し合った。その上で、どうしたらもっと利用してみたいと思うかをワークショップ形式で話し合った。
 - ・会場では参加者手作りのお菓子と紅茶が振舞われ、和やかな雰囲気の中、活発な意見交換が行われた。
 - ・情報発信の方法や、開催される講座の多様化、外国籍の方や年配の方への配慮など様々な課題が明確となった。

駅前拠点施設



会場の様子









若い世代への取り組み

- ・高校生も**市民の1人**

可児市議会基本条例より

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるとこ
ろによる。

(1) 市民 市内に居住し、通勤し、通学する個人又は市内で活動する団体をいう。

- ・高校生の意見を把握し、**市政に反映！**

第3条の議会活動には、市民の多様な意見を的確に把握し、これを市政に反映させることと明記。

- ・若い世代の**都市部流出**が地方衰退につながる。

多額のコストをかけて若者を育成しても、都市部へ移住されれば地域の担い手は減少してしまう。

- ・地域の**魅力を知る場**の提供

地域の大人と関わる場所を提供することで、地域への愛着や当事者意識をもってもらい、
新しい体験により、広い視野で社会とのつながりを実感してもらう。



ふるさと発展に寄与する人材育成

大人 × 若い世代(高校生)

→ 可児市の魅力を知る場

- ▶ 地域への愛着や当事者意識の醸成
- ▶ 広い視野や新しい経験の獲得
- ▶ 社会や学問のつながりの実感 など



ふるさと発展に寄与する人材育成



地域課題解決型キャリア教育

キャリア教育支援

可児高等学校が求める大人と関わる機会と議会が求める若い世代の意見を聴取する機会を設ける方向性が合致したこと。

キャリア教育推進のためにには、
地域で活動する大人と関わる
機会とその運営者が必要。

高校



基本条例に規定される市民は
有権者だけではない。
20歳未満の若い世代との
関わる場が必要。

議会

「キャリア教育についての研修会」

目的：平成26年2月10日に開催する高校生議会に先立ち、可児高等学校が実施するキャリア教育について、目的や内容などを把握するため。

時期：平成26年1月15日

講師：可児高等学校教諭 浦崎 太郎 氏

対象：可児市議会議員およびH26.2.10
意見交換参加職員（介護専門職）



高校生とのグループワーク

「IPE手法を活用した意見交換」

IPEとは「多職種間連携教育(Inter Professional Education)」の略称で、複数の領域の専門職者が連携し、お互いから学びあい、お互いのことを学ぶ仕組み。



この考え方を参考に、専門職である主任ケアマネや保健師などの地域課題に取り組む複数の専門家に加えて、議員や高校生などの若い世代が地域の課題と一緒に話し合い、認識を深め合うため、議場での活動報告の後に、介護ケア事例を題材に意見交換を実施した。

この意見交換は、議場で高校生から提案された意見書に基づき、『大人』である地域包括支援センターの協力を得て開催することができた。

高校生議会



- ・議会主催のキャリア教育支援の取り組みを高校生議会として実施。 (H26.2)
若い世代の意見を聞く機会をどう設けるのか意見交換し、意見書を採択。
職員等15名 議員16名 大学生2名 高校生24名 が参加。
- ・**子育てに関わる事業者・団体**の協力を得て開催。 (H27.2)
『子育て支援』をテーマに意見交換し、意見書を採択。
市長 職員8名 議員21名 子育て支援10名 高校生24名 が参加。
- ・キャリア教育を支援する団体の支援を得て開催。 (H28.2)
来年度の**キャリア教育活動計画**について話し合い、意見書を採択。
市長 職員4名 議員22名 支援団体13名 高校生29名 が参加。
- ・実際起こっている問題をより身近に捉え意見交換を実施し発表。 (H29.2)
行政実務をクロスロード的な手法により議論し、議場において発表。
市長 職員 議員 支援団体13名 高校生29名 が参加。



第7回高校生議会(R2.2.5)



今回は2部制で議員との意見交換や報告・質疑応答などが行われました。
市長 議員22名 高校生25名 職員 が参加

【第1部】R1.10の模擬選挙立候補者の選挙公約だった3つのテーマについて
生徒と議員が意見交換を実施

テーマ① 「学習支援（学校以外の学習環境）」

テーマ② 「多文化共生」

テーマ③ 「社会福祉（子育て、高齢者等）」

【第2部】協議結果の報告と質疑応答



グループディスカッション



意見書の提出?

第8回高校生議会(R4.3.25)



コロナ禍のため、従来のような生徒と議員のグループディスカッションという形ではなく、成果発表会という形式（2部制）で活動報告やマニフェスト提案などが行われました。

（市長 議員17名 高校生16名 職員 が参加）

【第1部】可児高等学校のコアメンバーの生徒が調査・研究を進めている3つのプロジェクトに関する活動報告

テーマ① 「環境」・・・環境課題に向けて

海洋プラスチック問題に着目し、給水スポットを検索できるアプリを普及させ
給水スポットを増やすことでペットボトル消費を削減することを提案。

テーマ② 「教育・福祉」・・・福祉政策や子どものメンタルヘルス

ボランティアをしながら子育て世代にアンケートを取り今後の活動に活かす予定。
居場所づくりのほか、高校生が勉強を教える寺子屋のようなことができたら・・・

テーマ③ 「可児市のブランディング戦略」 ・・・移住促進に向けて

可児市は「暮らす」という視点で考えるとよい点が多い。
インスタグラムを利用し情報発信するなどして人口減少対策、移住促進に貢献したい。



第8回高校生議会(R4.3.25)



【第2部】模擬選挙のマニフェストから市への提案

R3.11月に校内で実施した 模擬選挙の立候補者の選挙公約をもとに市への提案を行う。

- ・模擬投票の総括報告
- ・立候補者（3人）からの提案
①教育の経済的支援、外国籍市民への支援

経済的な理由で学ぶ機会が奪われないよう、外国籍の子も含めた多くの地域の子ども達のために支援を。

- ②平等に医療が受けられ、健康で生活ができる都市

医療機関の充実やボランティア活動の支援が、市の活性化や市民の健康寿命を延ばすことにつながる。

- ③移住促進政策

人口を増やすには可児市が現在もつ魅力を発信することが大事。

SNSの有効活用や移住者への補助金制度を。



地域課題懇談会

- 地元**医師会**の協力を得て、可児市議会が主催。 (H26.7)
医師会長の講演会と『健康づくり』をテーマに意見交換を実施。
職員11名 議員19名 医師9名 高校生23名 が参加。
- 可児**金融協会**の協力を得て開催。 (H27.6)
『どんな街に住み続けたいか・自分でできること』をテーマ意見交換。
議員17名 金融協会13名 高校生66名 が参加。
可児高等学校以外にも可児工業高校や東濃実業高校にも参加生徒を拡大
- 可児**商工会議所**と共に開催。 (H28.7)
意見交換テーマ「可児の担い手作り～企業が求める人材・高校生が求める企業～」
議員20名 商工会議所21名 高校生58名 が参加。



模擬選挙(H28.3.25)

模擬選挙前に、生徒を中心に選管職員、議員を交えて5回の打合せ

- ・生徒による争点案の抽出とマニフェスト案の作成。

候補者の演説会、**グループディスカッション**、模擬投票を実施 (H28.3)

内容：生徒代表による趣旨説明

候補者3名による立会演説会

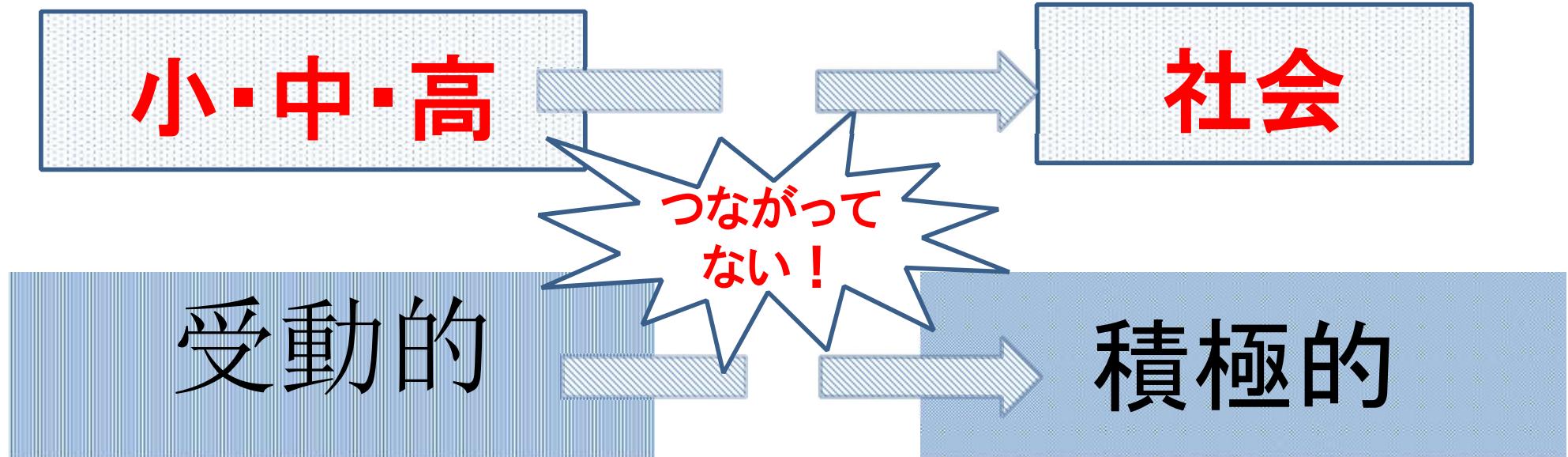
生徒1、2年生全員が6人程度グループに分かれマニフェストの検証

本番同様の投票用紙等を使って模擬投票

生徒による開票



なぜ若者の投票率が低いのか



EX. 生徒会選挙では、
全員が半ば強引に投票

EX. 自分から投票所に
行って投票

高校生の段階では、受動的にしか選挙について学んでいない
⇒「人を選ぶ」という経験がない

生徒の疑問1 どうやって投票するの？



本番さながらの選挙

平成28年3月25日执行

可児高市長選挙選挙公報

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま掲載したもの。)

可児高校選舉運営委員会

角野
仁美
21歳

大雅
嶺広
36歳

『だれもが住みやすい街づくり』 - 可児高校生の目標に立って -

«教育» ~複合施設を完備した図書館~

1. 学習スペース、カースペース、歴史展示室を兼ね備えた図書室にて開設。
2. エンリック・ラヨウド・クレントン・インティンシップの拠点整備に推進。

«交通安全» ~通学時の安全確保~

1. 歩行者と自転車が安全に利用できる通路整備。
2. 学校と駅を結ぶ、バス本数の増加。

«防災対策» ~大震災にむけて~

1. 避難道や避難場所など道路の整備。
2. 得毛地区と難波地区との連携、学校の備蓄品強化。
3. 高校生も災害ボランティア活動ができる組織づくり。

やる気の出る

«観光» ~市内の高校生連携~

1. 高校生主体で、花フェス記念公園の企画運営に参加。
2. 可児市観光ルートづくりと、P.R.

**自指せ! 10万人総活躍社会 ** 【★ 4つの政策課題 ★】

若者が元気なまち可児!

誰もが貢献と出番があるまち可児!

◆ 交通 安全

通学路の安全を最優先! 危険な交差点や狭隘道路の改善

可児市県自転車交通安全小 中 高校生免許制度の創設

◆ 災害 対策

震災防災リーダーの養成、各種型災害ボランティアセンター

を開設

◆ 教 育

青 年

高生の就労支援と就業実習制度「学年BA」(学年別実習)

◆ 観 光

GNSを駆使し、市司町いにこ森公園コンテストの実施

高齢者と高校生がタッグを組み、体験型観光プログラムを開催

山口
海斗
21歳

選舉公報



投票用紙等



期日前投票

生徒の疑問2 どうやって選んだらいいの？



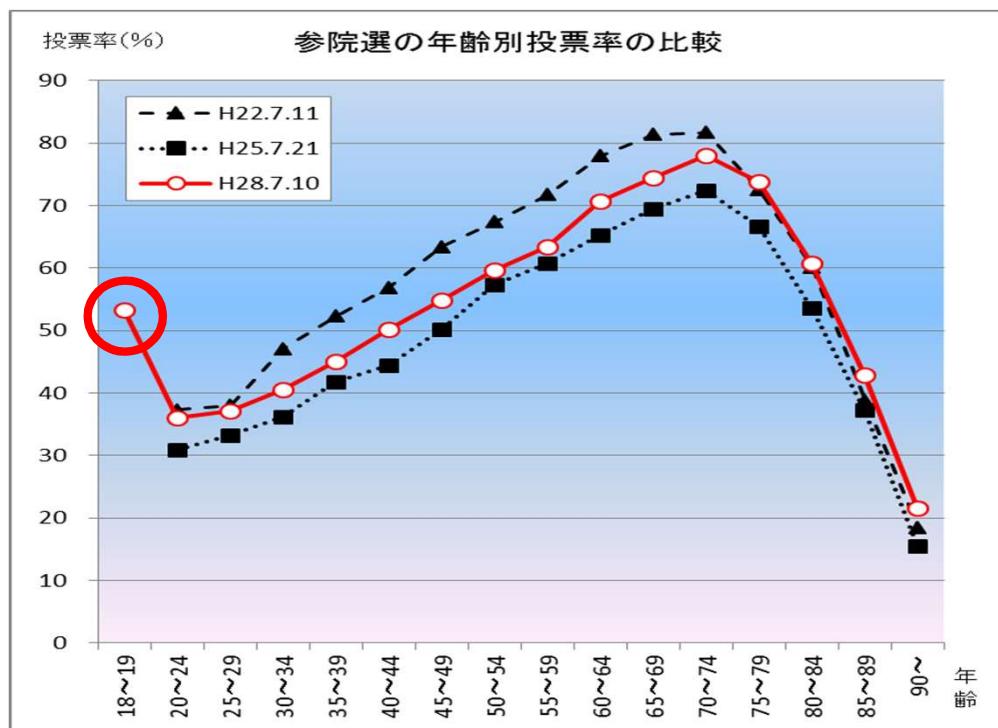
グループディスカッション



H28参議院議員通常選挙の結果について

【全体投票率】

	全国	岐阜県	可児市
H22.7.11	57.92%	59.75%	61.74%
H25.7.21	52.61%	52.97%	52.38%
H28.7.10	54.70%	57.74%	57.52%
H25→H28の上昇率	2.09	4.77	5.14



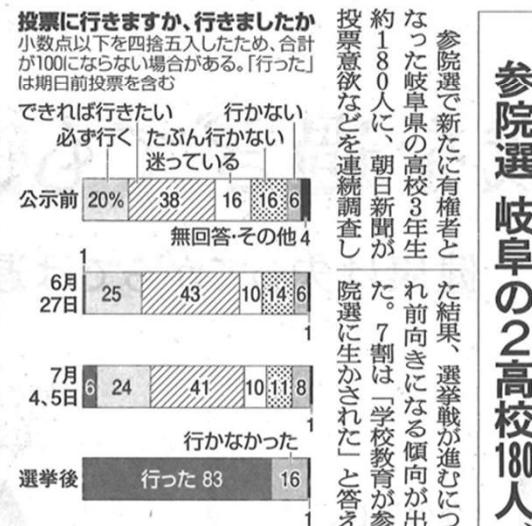
年齢 (5歳区分)	前回	順位	今回	順位	前回から上昇率
18~19	—	—	53.30%	9	—
20~24	30.94%	14	36.11%	15	5.17
25~29	33.23%	13	37.08%	14	3.85
30~34	36.25%	12	40.56%	13	4.31
35~39	41.73%	10	45.05%	11	3.32
40~44	44.48%	9	50.24%	10	5.76
45~49	50.23%	8	54.84%	8	4.61
50~54	57.30%	6	59.61%	7	2.31
55~59	60.73%	5	63.39%	5	2.66
60~64	65.26%	4	70.76%	4	5.50
65~69	69.49%	2	74.42%	2	4.93
70~74	72.47%	1	77.93%	1	5.46
75~79	66.65%	3	73.86%	3	7.21
80~84	53.58%	7	60.69%	6	7.11
85~89	37.33%	11	42.81%	12	5.48
90~	15.57%	15	21.54%	16	5.97
計	52.38%		57.52%		5.14

選挙戦進むと投票意欲↑

投票行く・行きたい58%→行った83%

情報分析力 養成が課題

田中伸・岐阜大学准教授（社会科教育学）の話 投票によって社会を変えたいと考える生徒が増えってきたことを示す調査結果だ。ただ、政治への関心は選挙期間を通して微増にとどまった。関心がある生徒は積極的に候補者の政策を調べて分析する一方、そうではない生徒との二極化が進んでいると考えられる。学校が全ての生徒に情報分析力をどう養わせ、卒業後も政治や社会にどう興味を持たせるかが課題だ。



岐阜県中呂市の中学校と高等学校と、岐阜市の私立岐阜聖徳学園高校の協力を得た。両校の生徒計186人に6月14日から7月14日にかけ、計4回、無記名のアンケートをした。欠席者らを除く1711～1822人から回答を得た。

投票意欲は回を追うごとに上がった。公示前の1回目は「必ず行く」「できれば行きたい」は58%。公示後（6月27日）は「期日前投票などに行った」を合せて69%に。7月4、5日の3回目は71%。結局、「投票に行つた」との回答は83%に達した。

政治への関心も「大いにある」「ある程度ある」がある」、「ある程度ある」が1回目の49%から、4回目

岐阜聖徳学園では6月、教員が候補者に扮した討論会を開いたり、模擬投票をしたりした。可児では今年3月に生徒の希望で模擬市長選を実施した。こうした主権者教育を含め、学校での学びの効果について4回目に尋ねると、今回の参院選で「大いに生きた」「あらゆる程度生きた」が合わせて68%を占めた。

左記2高校のアンケート回答者186人内訳

【岐阜聖徳学園高校生徒】
95人中72人が投票

投票率 75.8%

【可児高校生徒】
87人中79人が投票

投票率 90.1%

※岐阜聖徳学園高校の取り組み
高校教諭が候補者となっての模擬投票

積極的な主権者教育の必要性

朝日新聞2016.7.17

第3回 模擬選挙(R1.10.30)

- 数回にわたり高校生の中心メンバーと議員、立候補者（市職員）が一緒にミーティングを行い、政策内容や選挙公報、ポスターのデザイン等を検討。
- 1・2年生全員、PTA、市職員、議員が参加（高校主催で市選管と市議会が共催）

内容：

- ・議員による趣旨説明
- ・候補者3名による立会演説会
- ・生徒1、2年生全員が6人程度グループに分かれマニフェストの検証
- ・本番同様の投票用紙等を使って模擬投票
- ・生徒による開票



子ども議会

※平成16年より毎年実施

プールを夏だけ
にすれば？？

バス料金を広く
負担してもらったら！

- ・令和2年11月17日(火)
帝京大学可児小学校6年生
41名

- ・内容
 - ①議会ってどんなところ？
 - ②議会体験をしてみよう！

財政難の中、どの事業を廃止するか意見を出し合い、
最後に採決を行う



- 1)こども医療費助成の廃止
- 3)市立図書館の廃止

- 2)お年寄り向け無料バスの廃止
- 4)市民温水プールの廃止

子ども議会

どんな方法がいいか考えてみよう！



その他の方法？



「クーラーあきらめ扇風機で我慢」

僕たちが考える

財政策

可児市議会は二十三日、広見

小学校の六年生百三十四人を招

いた「子ども議会」を催した。

「昔は景気が良かった十万人の
地方都市。財政難になった今、
どうやりくりすればいいか」と
いう「どこかで聞いた話」を題
材に、児童たちが意見をぶつけ
あつた。

(遠藤康訓)

可児・広見小が「議会」

冒頭、川上文浩議長や議会事務局の職員が、市長と市議の役割、議会のルールなどを説明した。

模擬議会は、架空の「広見小学校市」が舞台。人口減少で税率が減ったが、お年寄りの増加で医療費は右肩上がり。財政難になつたため「やめる事業」を決めなければならない、というテーマで子ども議員たちがアイデアを出し合つた。



議場で意見をぶつけ合う児童ら=可児市役所で

ないと」、図書館廃館は「本を読むだけじゃなくて、いろんな人が集まる大切な場所」と反対意見が噴出。「市営プールは土、日曜だけの営業でいい」「学校のクーラーはあきらめて扇風機で我慢しよう」という提案もあつた。市長席に座つた森岸祥大君は「いつもここでいろいろなことを決めているんだと思ったら緊張した」、議長役の上野歩君は「市長が一番えらいと思っていて、議会では議長が一番力を持つていてるみたい。仕組みがとても勉強になつた」と感想を話した。

初！ 中学生議会(R4.8.20)



これまで高校生議会、小学生議会と若い世代との交流をしてきましたが、今年初めて、可児青年会議所主催で可児市・可児市議会協力のもと、「中学生議会」が開催されました。

(市長 教育長 議員13名 中学生9名 職員 が参加)

西可児中学校の3年生が主権者教育の一環として、授業で出された各クラスの意見や政策を参考に、1班、2班に分かれ、可児市が抱える地域課題や政策について考え、ユニークな案を提案しました。



1班「SNSでバズる！」

若い人たちが可児市に目を向ける施策について考えました。子どもたちにとって住みやすい街であるためにはどうすればいいか、若い人たちが集まつてくるには？

まずは可児市の魅力を市内外に発信しよう！

「やってみた動画」

「100日後に話題になる市長」

議員などのやらなそうな人がやらなそうなことをする、市民と議員との距離を縮められるのでは？



初！ 中学生議会(R4.8.20)

2班「将来の西可児を考える（空き家問題）」

高齢化が進む西可児地域が住みやすいきれいな街であってほしい！
地域課題である空き家問題を解決するには？

空き家相談のワンストップ窓口を作つて売却・賃貸などに詳しい専門家や税金・法律に詳しい担当者を置いて空き家放置のリスクや支援策を周知しては？SNSでも発信。

更地にした場合、地域のコミュニティーとして再生することで固定資産税を非課税としては？



議員は生徒の提案内容に対し質問する役でしたが、生徒たちは班のメンバーと相談しながら自分たちの意見をしっかりと答えていました。

地域の課題について仲間と考え、議場で自分たちの考えをわかりやすく伝えるという経験を通して、自らの地域のことを探るきっかけとなつたのではないでしょうか。

市議員や市議が目の前に並ぶ緊
張感の中を行なわれた中学生議会



西可児中の生徒は二班に分かれ、七月上旬から準備を取り掛かった。身近にある話題から可児全体の問題を探ろうと、一班では可児の知名度の低さに着目し、「会員制交流サイト(SNS)でバズる」を、二班では可児市全体の36%の空き家が同中学校区に集中している現状から「空き家問題」を議題を選んだ。

一班は「力を入れている発信内容」「どの世代をターゲットとしているか」「更新の頻度」などを執行部側に質問した。生徒たちは「調べるまで市のSNSがあるのを知らない」と知名度不足を指摘し、「可児に人を呼び込んで元気にする必要がある」と訴えた。その上で「可児は歴史のまち」とし、ゲームソフト内で街並みが再現できる「マインクラフト」を使ってPRすることを提案した。

一方で空き家問題という

可児中の皆さん、いずれも可児市議会で

「中学生議会」初開催



SNSや空き家問題など市に訴え

西可児中の生徒は二班に分かれ、七月上旬から準備を取り掛けた。身近にある話題から可児全体の問題を探ろうと、一班では可児の知名度の低さに着目し、「会員制交流サイト(SNS)でバズる」を、二班では可児市全体の36%の空き家が同中学校区に集中している現状から「空き家問題」を議題を選んだ。

一班は「力を入れている発信内容」「どの世代をターゲットとしているか」「更新の頻度」などを執行部側に質問した。生徒たちは「調べるまで市のSNSがあるのを知らない」と知名度不足を指摘し、「可児に人を呼び込んで元気にする必要がある」と訴えた。その後で「可児は歴史のまち」とし、ゲームソフト内で街並みが再現できる「マインクラフト」を使ってPRすることを提案した。

一方で空き家問題という

市への質問や提案の後には、市議から通告なしでの質問も飛んだ。生徒たちは班内のメンバーと相談しながら、的確に自分の考えを答えていた。一班の長瀬くるみさん(左)は「難しい質問にも雰囲気にのまれず、市議から協力して答えることができた」、二班の田口浩太郎さん(右)は「学校の授業とは違う本格的な専門的な議論ができる」と満足そうに話していた。

西可児中生 活発な意見

西可児中の生徒は二班に分かれ、七月上旬から準備を取り掛けた。身近にある話題から可児全体の問題を探ろうと、一班では可

児の知名度の低さに着目し、「会員制交流サイト(SNS)でバズる」を、二班では可児市全体の36%の空き家が同中学校区に集中している現状から「空き家問題」を議題を選んだ。

一班は「力を入れている発信内容」「どの世代をターゲットとしているか」「更新の頻度」などを執行部側に質問した。生徒たちは「調べるまで市のSNSがあるのを知らない」と知名度不足を指摘し、「可児に人を呼び込んで元気にする必要がある」と訴えた。

一方で空き家問題という

市への質問や提案の後には、市議から通告なしでの質問も飛んだ。生徒たちは班内のメンバーと相談しながら、的確に自分の考えを答えていた。一班の長瀬くるみさん(左)は「難しい質問にも雰囲気にのまれず、市議から協力して答えることができた」、二班の田口浩太郎さん(右)は「学校の授業とは違う本格的な専門的な議論ができる」と満足そうに話していた。

六軒が集中するなど深刻化している。

生徒は「空き家の軒数」としての市の予算」を聞いた。通学路に空き家があり、雑草で薄暗くなり、ゴーストタウンみたいになつて怖い」と身近な問題として訴えた。

対策として空き家相談窓口の二元化、解体後の更地の土地への固定資産税の非課税を提案した。更地の活用方法については「地域で気軽に息抜きやコミュニケーションができる場所にしてほしい」と語り、公共の花畠を整備するように求めた。

議会改革の推進と検証

情報発信の取り組み

▼議会広報誌（議会だより）

年4回発行（5月・8月・11月・2月）
自治会を通して全戸配布

議会広報特別委員会の設置（H19.12）
先進地視察（H20.1、H20.7、H26.7）
隨時見直し、リニューアル

- ・活字を大きめ、やや太めの明朝体に
- ・写真を多く取り入れる
- ・余白を作り、読みやすく
- ・裏表紙に地域の写真を掲載
- ・議員の取材コーナーを掲載
- ・**フルカラー化**（H25.5）

市の広報誌と併せて入札することでコストダウンを図る

- ・段組みを6段から4段へ変更
- ・表題を「議会のトビラ」へ（H27.5）
- ・二次元バーコードでYouTubeへ誘導
- ・**表紙を一般公募（R4.5～）**

可児市議会だより第80号 令和3年(2021年)第1回臨時会・第2回定例会

議会のトビラ

TOPICS

- 議案の審議結果
- 常任委員会報告
- 議員一般質問

令和3年度

予算案を審査



▼ホームページ

議会のホームページ開設（H16.3）

議員紹介、議案や議決結果、会議録、議会の取り組みなどを公開
全面リニューアル（H28.4）

広報誌にあわせ「議会のトビラweb」とした。

Googleカレンダーを利用し、議長公務や会議日程の公表

Facebookと連動させ、タイムリーな情報を両方で掲載

会議の様子等を動画配信しているYouTubeへリンク

議会だよりの音声データを掲載

▼YouTube

本会議および常任委員会（議案等）の動画配信

▼ケーブルテレビ

本会議の生放送
各種告知



議会の制作番組を放送
テレビ番組 10分×2本／年

議会放送番組

議会のトビラ 10 (R3.5放送)

【CTK放送】～議会報告会から直近までの活動を紹介～



 可児市議会 Groupware

FMらら 広報番組 議会のトビラ
「若者からみた議会・議会に望むこと」

高校生議会(令和4年3月25日開催)に参加された生徒4人をゲストに迎え、高校生議会に参加した感想や、成人年齢が引き下げられたことなどについて、広報部会の会長・副会長がインタビューしました。

令和4年5月30日(月)～
6月1日(水) 放送



事業別評価の実施

4つのサイクルによる取り組みを検証するため、事業別評価を実施

事業別評価シートの作成

- 1) 目的、主な内容を明記
- 2) 成果指標 参加者アンケートより
- 3) 評価項目を設定し、S,A,B,Cの4段階で評価
 - ・一次評価 議員による自己評価
 - ・二次評価 外部評価
- 4) 事業分析・改善点等

外部評価者

名城大学昇ゼミ生
NPO法人縁塾

※外部評価者の拡大が課題

対象事業

議会報告会、地域課題懇談会
高校生議会、ママさん議会等

可児市議会事業別評価シート(外部評価シート)				
外部評価者 NPO法人縁塾				
1. 事業概要(事業実施前に議会で記入)③-1次評価後に議会で記入、③-2次評価後に議会で記入				
事業名 議会報告会				
実施日 平成30年11月10日(土)・11日(日)・12日(月)				
場所 小さり利・姫路・広見・椎子・川合地区センター				
目的 議会全体として審議の内容や過程等を市民に説明するとともに、市民から意見を伺い、議会運営の改善、政策提言等に反映させていく。				
主な内容 ・議会どおりに活用して、決算等に関する審議の内容や過程等をわかりやすく説明し、それに対する意見交換を行う。 ・今回の報告会のテーマ「災害への備え」に関する意見聴取、意見交換を行う。 ・その他、地域課題等について意見聴取、意見交換を行ふ。				
2. 評価指標(事業実施前に議会で記入)③-1次評価後に議会で記入、③-2次評価後に議会で記入				
指標内容	単位	前々回目標	前回目標	今回目標
成績指標	%	70	75	75
意見交換して良かった割合	%	71	69	73
参考指標	%	70	75	75
参考指標	人	100	100	100
参考指標	人	117	86	68
※成績指標(アウトカム)の設定が難しい場合は、参考指標として活動指標(アウトプット)を記入。				
3. 評価項目・評価結果(①事業実施前に項目を議会で設定、②事業実施後に一次評価を議会で記入、③-1次評価後に二次評価を外部評価者で記入)				
項目	一次評価(自己評価)		二次評価(外部評価)	
	評価理由等	評価	評価理由等	評価
事業の目的や内容、評価指標等が事前に企画段階に示され、その後に実施されているが、今後には評価も含めて十分に評価された上で共有されることが必要である。	B	事業目的は議員共創されていて(一次評価よ)。当日の役割分担も示されていた。	A	
市民の参加を促すための周知活動は十分に行なわれたか。	B	議会への参加、チラシ、その他の情報などを活用している。ただ、幅広い年代には届いていない。それだけにどの世代がどの程度参加が伸びているかわからないのが問題がある。参加してほしい層が属する団体へのアプローチ、SNSの活用などが必要。	C	
議員からの説明は市民にわかりやすいものであったか。	A	議員だけによる説明はわかりやすかった。前回(6月)は全体に向けてテーマごとに詳しくスライドを使用した機動供給があったので、今回も同じようにテーマ(防災)に関する機動供給があった。	A	
市民が話しづらい雰囲気や進行により、多くの意見聴取に難があつたか。	A	回によってはテーマが広く、人が聞こえていたりがちだった。参加者が各自の知識の範囲で話すことが多い。新規参政者は話しづらかった。順に話をきく、一人が話すすぎないなどグランドヘルプを最初に伝えなどの工夫があるよ。	B	
時間配分、テーマ設定等は妥当であったか。	A	会員の時間配分としてはちょうどよい。当日の時間配分はほぼ各グループによって異なることが印象的。	A	
環境した意見について、市民への公表や、議会で取り組むべき課題を判断するなどの対応は行なわれたか。	A	(議会以上の内容に関する質問時間は長い)に限らず議論時間の振り分けが異なった)自負質問の時間、テーマ質問の時間を全体で区切ってほしいと思われる。	B	
総合評価	意見のホームページ上でこの公報、各常任委員会での検討が行われている(←一次評価よ)。その後の取り組みをどう参画者および参画していない市民に周知するか問題。			
4. 事業の分析・次期改善点等(二次評価後に議会で記入)				
参加者が少ないと、年齢や性別による偏りが課題である。来てもうしたい世代の集まる団体に直接出向き説明やヒアリングをしたり、何かのイベントを合わせて行なうなど、実施方法の改善について検討が必要である。				

議員定数・報酬の検討

定数・報酬、常任委員会の体制・所管事務の根拠付け等の調査、研究を実施。

H23. 7 議会基本条例調査研究プロジェクトチーム提言

H25.10 議会改革調査研究プロジェクトチームを設置

H26. 7 最終報告を提出

H26. 9 議会活性化特別委員会を設置

H26.12 専門的知見の活用

H27. 5 市民との意見交換

H27. 6 最終報告を提出

H27. 9 議員定数報酬検討特別委員会を設置

H28. 2 全議員の活動量調査

H29. 4 専門家による審査検証

H29. 7 最終報告を提出

H29. 9 議会運営委員会にて検討プロジェクトチームを設置

H30. 5 議会報告会にて市民に中間報告

- ・3常任委員会の体制維持
- ・1委員会の定数は7名
- ・議長は委員会に属さない
- ・任期は1年
- ・委員会構成から定数22名
- ・全議員報酬月額1万増
- ・役職加算の再検討

今後の取り組み予定



地域課題懇談会の充実

- ・高校生議会（高校生による活動報告と意見交換）
- ・各種団体と高校生、議員による地域課題に関する意見交換
- ・18歳選挙権に関する出前講座
- ・子育て世代との意見交換会

事業別評価による取り組みの検証

- ・外部評価を充実し、より効果の高い事業とするよう改善を図る

議員定数報酬の調査研究の継続

- ・条例改正へ向け調査研究を続ける

議会事務局の広域連携

- ・チーム議会として、議会事務局の他市連携による情報交換

など

議会の力が地域の 未来を創る

ご清聴ありがとうございました